

# 町営住宅一里松第1団地・第4団地 屋根修繕工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 0	タイトル	A - 1 0	第1団地 仮設置図	A - 2 0	現況・改修後 第4団地 1階平面図
A - 1	建築特記仕様書（ 1 ）	A - 1 1	現況・改修後 第1団地 1階平面図	A - 2 1	現況・改修後 第4団地 2・3階平面図
A - 2	建築特記仕様書（ 2 ）	A - 1 2	現況・改修後 第1団地 2・3階平面図	A - 2 2	現況 第4団地 立面図
A - 3	建築特記仕様書（ 3 ）	A - 1 3	現況 第1団地 立面図	A - 2 3	改修後 第4団地 立面図
A - 4	建築特記仕様書（ 4 ）	A - 1 4	改修後 第1団地 立面図	A - 2 4	現況 第4団地 屋根伏図
A - 5	解体特記仕様書（ 1 ）	A - 1 5	現況 第1団地 屋根伏図	A - 2 5	改修後 第4団地 屋根伏図
A - 6	解体特記仕様書（ 2 ）	A - 1 6	改修後 第1団地 屋根伏図	A - 2 6	現況 第4団地 矩計図
A - 7	解体特記仕様書（ 3 ）	A - 1 7	現況 第1団地 矩計図	A - 2 7	改修後 第4団地 矩計図
A - 8	解体特記仕様書（ 4 ）	A - 1 8	改修後 第1団地 矩計図		
A - 9	全体配置図・付近案内図・工事内容	A - 1 9	第4団地 仮設置図		

(有)アーク設計工房 琴浦事務所

町営住宅一里松第1団地・第4団地屋根修繕工事 特記仕様書

Ⅰ. 工 事 概 要

- 1 . 工事場所 : 鳥取県東伯郡琴浦町八橋 1 0 - 1、 1 7 - 2
- 2 . 敷地面積 : m2
- 3 . 工事種目 : 1 ) 公営住宅 R C 造 3 階建 屋根修繕

番号	名 称	工事種別	構 造	階数	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
1	第1団地	修繕	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	3	301.83m2	897.30m2
2	第4団地	修繕	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	3	281.54m2	841.65m2

- 2 ) 樹木 指示ヶ所 伐採

Ⅱ. 建築工事仕様

1 . 共通仕様

- ( 1 ) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書 ( 建築工事編 ) 令和 4 年度 ( 以下「標準仕様書」という。 ) による。  
図面、本特記仕様書及び標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書 ( 建築工事編 ) 令和 4 年版 ( 以下「改修標準仕様書」という。 ) による。
- ( 2 ) 建築基準法に基づく完了検査 ( 中間検査含む ) が必要な工事の場合、受注者は完了検査 ( 中間検査含む ) 時には、官公署 ( 建築主事等 ) が求める検査に必要な書類 ( 報告書 ) 等を用意する。

2 . 特記仕様

- ( 1 ) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- ( 2 ) 特記事項は、⊙印のついたものを適用する。  
●印のつかない場合は、○印のついたものを適用する。  
●印と○印のついた場合は、共に適用する。
- ( 3 ) 特記事項に記載の ( ) 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
[ ] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- ( 4 ) G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律 ( 平成 1 2 年法律第 1 0 0 号 ) 」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 ( 令和 4 年 2 月 2 5 日変更閣議決定 ) 」に定める特定調達物品における判断の基準 ( 特定調達品目「公共工事」においては表 1 中の品目ごとの判断の基準 ) を満たすものを示す。
- ( 5 ) 関係法令 ( 条例を含む ) の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議する。
- ( 6 ) 材料及び製造所等の記載は順不同である。

章	項 目		特 記 事 項
① 一般 共通 事項	①	適用基準等	建築工事標準詳細図 ( 令和 4 年版 ) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 ( 以下「標準詳細図」という )  図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次による。 ・ 建築物解体工事共通仕様書 令和 4 年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部
	2	電気保安技術者	配置する ( 1 . 3 . 3 )
	③	施工条件	現場説明書による ( 1 . 3 . 5 )
	④	工事安全計画書	( 1 . 3 . 7 ) 建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱に基づき、工事安全計画書を監督職員に提出する。 詳細は、現場説明書による
	⑤	発生材の処理等	現場説明書の施工条件明示による ( 1 . 3 . 1 1 )
	⑥	環境への配慮	( 1 . 4 . 1 ) 1 ) 建物物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の から を満たすものとする。 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、M D F、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 接着剤は、可塑剤 ( フタル酸ジ - n - ブチル及びフタル酸ジ - 2 - エチルヘキシル等を含む ) が添加されていない材料を使用する。 の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⑦	材料の品質等	材料・機材等の品質及び性能 ( 1 . 4 . 2 ) 1 ) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2 ) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3 ) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4 ) 本工事に使用する材料のうち、5 ) に指定する材料の製造業者等は、次の ~ の事項を満たすものとし、その証明となる資料 ( 外部機関が発行する証明書の写し等 ) を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 安定的な供給が可能であること。 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 販売、保守等の営業体制が整えていること。

	管理建築士	T I T L E 町営住宅一里松第 1 団地・第 4 団地屋根修繕工事	<div>ARCH</div> 有限会社 アーク設計工房 一級建築士事務所 登録第 0 3 - 1 2 6 1 号 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599	N O . A - 1
	一級建築士 第 2 6 2 2 8 7 号 杉嶋 信次	特記仕様書 ( 1 ) NO SCALE		D R A W I N G N O 2 0 2 3 . 9

8

技能士

5 ) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料		
床型枠用鋼製デッキプレート	錠前類	トイレブース
鉄骨柱下無収縮モルタル	クローザ類	天井点検口
無収縮グラウト材	自動扉機構	床点検口
乾式保護材	自閉式上吊り引戸機構	グレーチング
既調合モルタル	重量シャッター	屋上緑化システム
既調合目地材	軽量シャッター	トップライト
ルーフトレン	オーバーヘッドドア	ポリマーセメントモルタル
吸水調整材	現場発泡断熱材	鋳鉄製ふた
防水剤	フリーアクセスフロア	
移動間仕切	可動間仕切	
( 1 . 5 . 2 )		
工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	○ とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・ 鉄筋組立て作業
コンクリート工事	型枠施工	・ 型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	とび	・ とび作業
コンクリートブロック A L C パネル工事	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業
	エーエルシーパネル施工	・ エーエルシーパネル工事作業
防水工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業
		・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
		・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業
		○ 合成ゴム系シート防水工事作業
		・ 塩化ビニル系シート防水工事作業
		・ セメント系防水工事作業
		・ シーリング防水工事作業
		・ 改質アスファルトシートトーチ工法 防水工事作業
		・ F R P 防水工事作業
		・
石工事	石材施工	・ 石張り作業
タイル工事	タイル張り	・ タイル張り作業
木工事	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	○ 内外装板金作業
金属工事	内装仕上施工	・ 鋼製下地工事作業
	建築板金	・ 内外装板金作業
左官工事	左官	・ 左官作業
建具工事	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
	自動ドア施工	・ 自動ドア施工作業
	ガラス用フィルム施工	・ 建築フィルム作業
塗装工事	塗装	・ 建築塗装作業
内装工事	内装仕上げ施工	・ プラスチック系床仕上げ工事作業
		・ カーペット系床仕上げ工事作業
		・ ボード仕上げ工事作業
	表装	・ 壁装作業
排水工事	配管	・ 建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・ 溶融ペイントハンドマーカ－工事作業
		・ 加熱ペイントマシンマーカ－工事作業
植栽工事	造園	・ 造園工事作業

9

化学物質の濃度測定

10

完成写真

11

完成時の提出図書

12

施工図及び施工計画書

13

設備工事との取り合い

14

設計 G L

15

適用区分

2

仮設工事

1

足場その他

2

監督職員事務所等

3

工事用水

4

工事用電力

( 1 . 5 . 9 )

測定対象室及び測定箇所数は仕上表による

測定対象化学物質及び測定方法は現場説明書の施工条件明示による

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 1箇所	・ 電子データ ( J P E Gフルカラー・圧縮率1/4程度 )		4500 × 3000ピクセル以上で画像補正を行ったものの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	・ カラー木製パネル半切 ( 324 × 400mm )			
上記と異なる 外部 (     )箇所 内部 (     )箇所	・ 電子データ ( J P E Gフルカラー・圧縮率1/4程度 )			
外部 ( 8 )箇所 内部 (     )箇所 程度	○ 電子データ ( J P E Gフルカラー )		1280 × 960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意

撮影部位は監督職員の指示による

電子データは、C D - R等で提出する

( 1 . 7 . 1 ~ 3 ) ( 表 1 . 7 . 1 )

現場説明書の施工条件明示による

( 1 . 7 . 2 )

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける

図示

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる

風圧力

風速 V o =            m / s

地表面粗度区分     ・            ・            ・            ・

積雪荷重 平成 1 2 年 5 月 3 1 日 建設省告示第 1 4 5 5 号における区域 別表 (            )

( 2 . 2 . 4 )

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙 1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

( 2 . 3 . 1 )

設ける            ・ 設けない

現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による

構内既存の施設            利用できない     ・ 利用できる (            有償            ・ 無償 )

構内既存の施設            利用できない     ・ 利用できる (            有償            ・ 無償 )

管理建築士

一級建築士 第 2 6 2 2 8 7 号 杉嶋 信次

T I T L E

町営住宅一里松第 1 団地・第 4 団地屋根修繕工事

特記仕様書 ( 2 )

S NO SCALE

ARCH 有限会社 アーク設計工房

一級建築士事務所 登録第 0 3 - 1 2 6 1 号

TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599

琴浦事務所

NO. A - 2

DRAWING NO. 2 0 2 3 . 9

3 土工事	1	埋戻し及び盛土	材料及び工法 ( 3 . 2 . 3 ) ( 表 3 . 2 . 1 ) 標準仕様書表3.2.1による種別 ・ A 種 適用場所 ( ) ・ B 種 適用場所 ( ) ・ C 種 適用場所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( ) ・ D 種 適用場所 ( ) ( 品質 : 細粒分 ( 75 μ m 以下 ) の含有率 ( 重量百分率 ) の上限を 50 % 未満とする。 ) ・ ( 材料 : 工法 : )								平場のモルタル床塗りにおける目地の目地割および種類 目地割 目地割 2 m <sup>2</sup> 程度、最大目地間隔 3 m程度 目地の種類 押し目地 屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ 標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による ・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ ( mm 以上 )
	2	建設発生土の処理	現場説明書の施工条件明示による ( 3 . 2 . 5 ) ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積								固定金具の材質、形状及び寸法 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの
9 防水工事	3	合成高分子系ルーフィングシート防水	屋根防水 防水層の種類 ( 9 . 4 . 2 ~ 4 ) ( 表 9 . 4 . 1 ~ 3 )					1 2 木工事	1	製材 G	接着工法の場合の脱気装置の種類 ルーフィングシートの製造所の仕様  プレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ( 接着工法の場合 ) ・ 行う ( 図示 ) ・ 行わない プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り ( 種別S-F1、SI-F1の場合 ) ・ 行う ( 図示 ) ・ 行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法
			種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類 使用量					
			⊙ S - F 1	軒樋部		・ 製造所の仕様による	・ 製造所の仕様による	・ 適用する			
			・ S - F 2								
			・ S - M 1			・	・ 製造所の仕様による				
			・ S - M 2								
			・ S I - F 1		標準仕様書9.4.2(3)(エ)(b)による ( 種類 ) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号	・	・ 製造所の仕様による				
			・ S I - F 2								
			・ S I - M 1		標準仕様書9.4.2(3)(エ)(a)による ( 種類 ) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号	・	・ 製造所の仕様による				
			・ S I - M 2								
			S - M 1 及び S - M 2 における防湿用フィルムの設置 設置しない ・ 設置する S I - M 2 のシートの可塑剤移行防止用シートの材種 ・ 発泡ポリエチレンシート S - F 1、S - M 1、S - F 2、S - M 2 の仕様 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様  屋内防水 防水層の種類								( 1 2 . 1 . 4 ) ( 1 2 . 2 . 1 ) ( 1 2 . 4 . 1 ) ( 1 2 . 5 . 1 ) ホルムアルデヒド放射量 F ( 1 2 . 6 . 1 ) ( 1 2 . 7 . 1 )  ・ JAS 1083-5 製材-第 5 部に基づく下地用製材
			施工箇所	樹 種	寸法 ( mm )	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用	
						2 級 ・		A 種 ・ B 種 ・		・	
						2 級 ・		A 種 ・ B 種 ・			
			・ JAS 1083-2 製材-第 2 部に基づく造作用製材								
			施工箇所	樹 種	寸法 ( mm )	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用	
			見え掛り面			上小節 ・		A 種 ・ B 種 ・		・	
			見え掛り面以外			小節以上 ・		A 種 ・ B 種 ・		・	
			・ JAS 1083-6 製材-第 6 部に基づく広葉樹製材								
			施工箇所	樹 種	寸法 ( mm )	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用	
						1 等 ・		10 % 以下 ・ A 種 ・ B 種 ・		・	
						1 等 ・		10 % 以下 ・ A 種 ・ B 種 ・		・	
			管理建築士		TITLE 町営住宅一里松第 1 団地・第 4 団地屋根修繕工事		ARCH 有限会社 アーク設計工房 一級建築士事務所 登録第 0 3 - 1 2 6 1 号 琴浦事務所 TEL 0858-52-3599 / FAX 0858-52-3599		NO. A - 3 DRAWING NO. 2 0 2 3 . 9		
			一級建築士 第 2 6 2 2 8 7 号 杉嶋 信次		特記仕様書 ( 3 ) NO SCALE						

13

屋根及びとい工事

1

長尺金属板葺

4

とい

18

塗装工事

1

材料

(13.2.2、3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量(18.1.3)  
F・  
防火材料　　屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。  
・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所： )

2

素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	A種 ・ B種
	透明塗料塗りの場合	B種 ・ A種
鉄鋼面		C種 ・ A種 ・ B種
亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		B種 ・ A種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		B種 ・ A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)		・ A種 ・ B種
せっこうボード面及び その他ボード面	目地：継目処理工法	A種 ・ B種
	目地：継目処理工法以外	B種 ・ A種

4

塗料

(18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類	高日射反射率塗料
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	A種 ・ B種	1種 ・ 2種	/
	木部屋内	B種 ・ A種	1種 ・ 2種	/
	鉄鋼面	B種 ・ A種	1種 ・ 2種	・適用する
	亜鉛めっき鋼面		1種 ・ 2種	・適用する
・クリアラッカー塗り(CL)		B種 ・ A種	・透明 ・不透明	/
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		B種 ・ A種		/
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	/	上塗り等級( )級	・適用する
	亜鉛めっき鋼面	/	上塗り等級( )級	/
	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・A種 ・B種 ・C種	上塗り等級1級 上塗り等級2級 上塗り等級3級	/
	屋内の鉄鋼面	B種 ・ A種		/
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)		B種 ・ A種		/
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		B種 ・ A種		/
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)		B種 ・ A種		/
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		B種 ・ A種	・透明 ・不透明	/
・ステイン塗り		・ビグメント ステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)		/
・木材保護塗料塗り(WP)		B種 ・ A種	・透明 ・不透明	/

15

左官工事

1

モルタル塗り

(15.3.2、5)

モルタル　現場調合材料　・既調合材料(材料 )  
既製目地材　・設ける 施工箇所( ) 形状( 図示 ・ )  
・設けない  
床の目地　・設ける(目地割り 2m2程度(最大目地間隔3m程度 ・ )  
(種類 押し目地 ・ )  
・設けない  
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験  
・適用する ・適用しない  
  
建具回り等の充填モルタルに使用する防水剤  
(品質・性能)  
(試験方法)JIS A1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による

項目	品質・性能
防水剤の種別	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合	セメント重量の5%以下
凝結及び安定性	(凝結時間)始発：1時間以上 終結：10時間以内 (安定性)収縮性、膨張性のひび割れ及びそのの有無について確認する。
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したものの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上
吸水比	防水剤を混入したものの、しないものの吸水比 95%以下
透水比	防水剤を混入したものの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 <sup>5</sup> Paとし1時間行う

TITLE

町営住宅一里松第1団地・第4団地屋根修繕工事

S  
NO SCALE

特記仕様書(4)

ARCH  
琴浦事務所

有限会社 アーク設計工房  
一級建築士事務所 登録第03-1261号  
TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599

N.O.  
A - 4  
DRAWING NO  
2023.9

建築物解体工事仕様書

．工 事 概 要

- 1．工 事 場 所
- 1．工事場所　：鳥取県東伯郡琴浦町八橋10-1、17-2
- 2．敷 地 面 積
- 2,064.54　m2　　　　m<sup>2</sup>
- 3．地 域 地 区
- 都市計画地域（　・**○内**　・外　）市街化調整区域  
用途地域等　（　　　指定なし　　　）
- 4．建 物 概 要

番号	名 称	工事種別	構 造	階数	建築面積（㎡）	延べ面積（㎡）
1	第1団地	修繕	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	3	301.83m2	897.30m2
2	第4団地	修繕	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	3	281.54m2	841.65m2

．建築解体工事仕様

- 1．共通仕様
- （ 1 ） 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書（令和4版）」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。ただし、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- （ 2 ） 請負者は、建築基準法に基づく完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等を用意する。
- （ 3 ） 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- 2．特記仕様
- （ 1 ） 項目は番号に 印のついたものを適用する。
- （ 2 ） 特記事項は○印のついたものを適用する。  
○印のつかない場合は、 印のついたものを適用する。  
○印と○印のついた場合は共に適用する。
- （ 3 ） 項目に記載の＜ ＞内の表示番号は、解体共通仕様書、[ ]内の表示番号は改修標準仕様書、（ ）内の表示番号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- （ 4 ） **[G]**印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。
- （ 5 ） 各仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守[ 1 . 1 . 1 3 ]の規定を優先する。
- （ 6 ） 材料及び製造所等の記載は順不同である。

章		項 目	特 記 事 項
① 一般 共通 事項	①	適用基準等	○ 建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（以下「標準詳細図」という。） ○ 建築改修工事監理指針（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○ 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ● 建築工事監理指針（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	②	官公庁その他への手続 ＜1.1.3＞	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。
	3	電気保安技術者 ＜1.3.3＞	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規定第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	④	工事安全計画書 ＜1.3.6＞	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑤	発生材の処理等 ＜1.3.10＞	・ 引渡しを要するもの（ ） ・ 特別管理産業廃棄物（ ） 処理方法（ ） ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ・ 再生資源化を図るもの ・ ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ・ アスファルトｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ・ 建設発生木材 ・ P C B 含有シーリング材の処理 ・ 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 採取箇所数 計 箇所 採取箇所 図示 ・ 第二次判定 専門分析機関にて P C B 含有量の分析を行う。 分析個数 計 箇所 ・ 除去処理工事 除去範囲 図示 ・ せっこうボードの処理 ・ 石綿含有せっこうボード 公共工事改修工事標準仕様書9章による。 ・ ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・ 製造業者に回収委託 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称・所在地（ ） ・ 石綿含有、ひ素・カドミウム含有以外のせっこうボード ・ 再資源化（再資源化施設） ・ 最終処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称・所在地（ ）
		T I T L E	町営住宅一里松第1団地・第4団地屋根修繕工事
		S NO SCALE	解体特記仕様書（ 1 ）
		管理建築士	<b>ARCH</b> 有限会社 アーク設計工房 一級建築士事務所 登録第03-1261号 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599 琴浦事務所
		一級建築士 第262287号 杉嶋 信次	
			N O . A - 5 D R A W I N G N O 2 0 2 3 . 9



③ 解体施工	1	事前措置 <3.2.1>	浄化槽、排水槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒等 ・ 行う（箇所） ・ 行わない		2	産業廃棄物広域認定 制度の活用 <4.4.2>	再資源化し現場で利用する建設廃棄物					
	種 類		利用する箇所									
2	杭 <3.9.2>	杭の解体 ・ 行う（杭頭から mまで ・全長） ・ 行わない 杭の解体工法 ・ 引き抜き工法（ ・ 振動 ・ ケーシング） ・ 破砕による解体										
③	樹木等 <3.10.1>	草（樹木）の伐採伐根及び移植 隣接地よりの樹木等は協議による ⊙ 行う（⊙ 伐採 ・ 伐根）（図示による） ・ 行わない	3 最終処分 <4.4.4>									
				・ （安定型）								
		種 類		受入施設名称等		所在地（km）		備考				
				・ （管理型）								
		種 類		受入施設名称等		所在地（km）		備考				
				種 類		中間処理施設又は処理施設名称等		所在地（km）		備考		
				CCA処理木材								
				・ 石綿含有せっこう ボード								
				・ ひ素・カドミウム 含有せっこうボード						・ 製造業者に改修を委託 ・ 埋立処分		
4 建設廃棄物の処理	1	再資源化等 <4.4.1>	建設副産物の搬出先として、以下の施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではない。なお、搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うものとする。									
			建設廃棄物の種類		中間処理施設又は再資源化施設の名称等		所在地（km）					
			・ コンクリート		現場説明書による ・							
			・ アスファルト・ コンクリート		現場説明書による ・							
			・ 木材		現場説明書による ・							
			・ 金属類		現場説明書による ・							
			・ 小形二次電池									
			建設廃棄物の種類		再資源化の有無		再資源化施設の名称等		所在地（km）			
			・ 蛍光灯 HIDランプ									
			・ 硬質塩化ビニル管 及び継手									
			・ ガラス									
									・ 木材を指定建設資材廃棄物として処理する。			
						管理建築士		TITLE 町営住宅一里松第1団地・第4団地屋根修繕工事		ARCH 有限会社 アーク設計工房 一級建築士事務所 登録第03-1261号 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599		NO. A-7 DRAWING NO. 2023.9
			一級建築士 第262287号 杉嶋 信次		解体特記仕様書（3） NO SCALE							



5

特別管理産業廃棄物の処理

3

P C B  
<5.4.3><5.4.4>

P C Bを含む機器類      ・    有（数量は図示）      ・    無  
  
P C B含有シーリング材      ・    有（施工範囲は図示）      ・    無  
  
分析調査      ・    行う  
P C Bを含む機器等については、監督職員の指定する箇所に保管する。

4

廃油  
<5.4.5>

廃油      ・    有（数量は図示）      ・    無

5

廃酸・廃アルカリ  
<5.4.6>

吸収冷凍機、直だし吸収冷温水機等の臭化リチウム水溶液等      ・    有（数量は図示）      ・    無  
鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液      ・    有（数量は図示）      ・    無

6

ダイオキシン類  
<5.4.7>

サンプリング調査      ・    行う  
解体方法及び処分方法      ・    図示による

⑥

アスベスト含有建材の除去及び処理

1

施工調査  
<6.1.2>

県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者が工事を行う。  
  
施工調査  
・アスベスト含有建材の事前調査  
工事中手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。  
調査範囲（      ・      ・図示      ）  
貸与資料（      ）

2

アスベスト粉じん濃度測定  
<6.1.3>

・分析によるアスベスト含有建材の調査  
分析対象  
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト  
分析方法  
J I S   A 1 4 8 1 - 1又は1 4 8 1 - 2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」  
・  
分析結果については、監督職員に報告する  

材料名	定性分析	定量分析
	・（箇所数：      ）	・（箇所数：      ）
	・（箇所数：      ）	・（箇所数：      ）
	・（箇所数：      ）	・（箇所数：      ）

  
サンプル数      1箇所あたり3サンプル  
採取箇所      ・図示      ・  
  
・アスベスト粉塵濃度測定  
測定時期、場所及び測定点  

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・各 1 点      ・各 2 点      ・各 3 点
	測定 2		調査対象室外部の付近	・各 1 点      ・各 2 点
	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・各 1 点      ・各 2 点      ・各 3 点
	測定 4		負圧・除塵装置の排出 吹出し口	出口吹出し風速 1 m / s e c 以下 の位置      ・各 1 点      ・各 2 点
	測定 5		処理作業室外 （敷地境界）	・計 1 点      ・4 方向各 1 点
	測定 6	処理作業後 （シート養生中）	処理作業室内	・各 1 点      ・各 2 点

3

アスベスト含有吹付け材の除去  
<6.3.2><6.3.3>

・アスベスト含有吹付け材の除去  
除去対象範囲      図示  
除去工法      解体共通仕様書6.3.2(a)(1)～(4)による  
除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止      密封処理（    湿潤化      ・セメント固化）  
除去したアスベスト含有吹付け材等の処分  
埋立処分(管理型最終処分場）      ・    中間処理（溶融施設）

4

アスベスト含有保温材等の除去  
<6.4.3><6.4.4>

・アスベスト含有保温材等の除去  
除去対象範囲      図示  
作業場の隔離      ・    行う  
除去したアスベスト含有保温剤の処分  
埋立処分(管理型最終処分場）      ・    中間処理（溶融施設）

⑤

アスベスト含有成形板の除去  
<6.5.2><6.5.3>

①アスベスト含有成形板の除去  
除去対象範囲      〇    屋根大波スレート  
除去したアスベスト含有成形板の処分  
・アスベスト含有石こうボード  
埋立処分(管理型最終処分場)  
②アスベスト含有石こうボードを除くアスベスト含有成形板（アスファルトシングル表層分離部）  
③埋立処分(管理型最終処分場）      ・    中間処理（溶融施設）

7

特殊な建設副産物の処理

1

施工調査  
<7.1.3>

分析調査      ・    行う  

材   料   名	分   析   方   法	調   査   の   範   囲
		図示

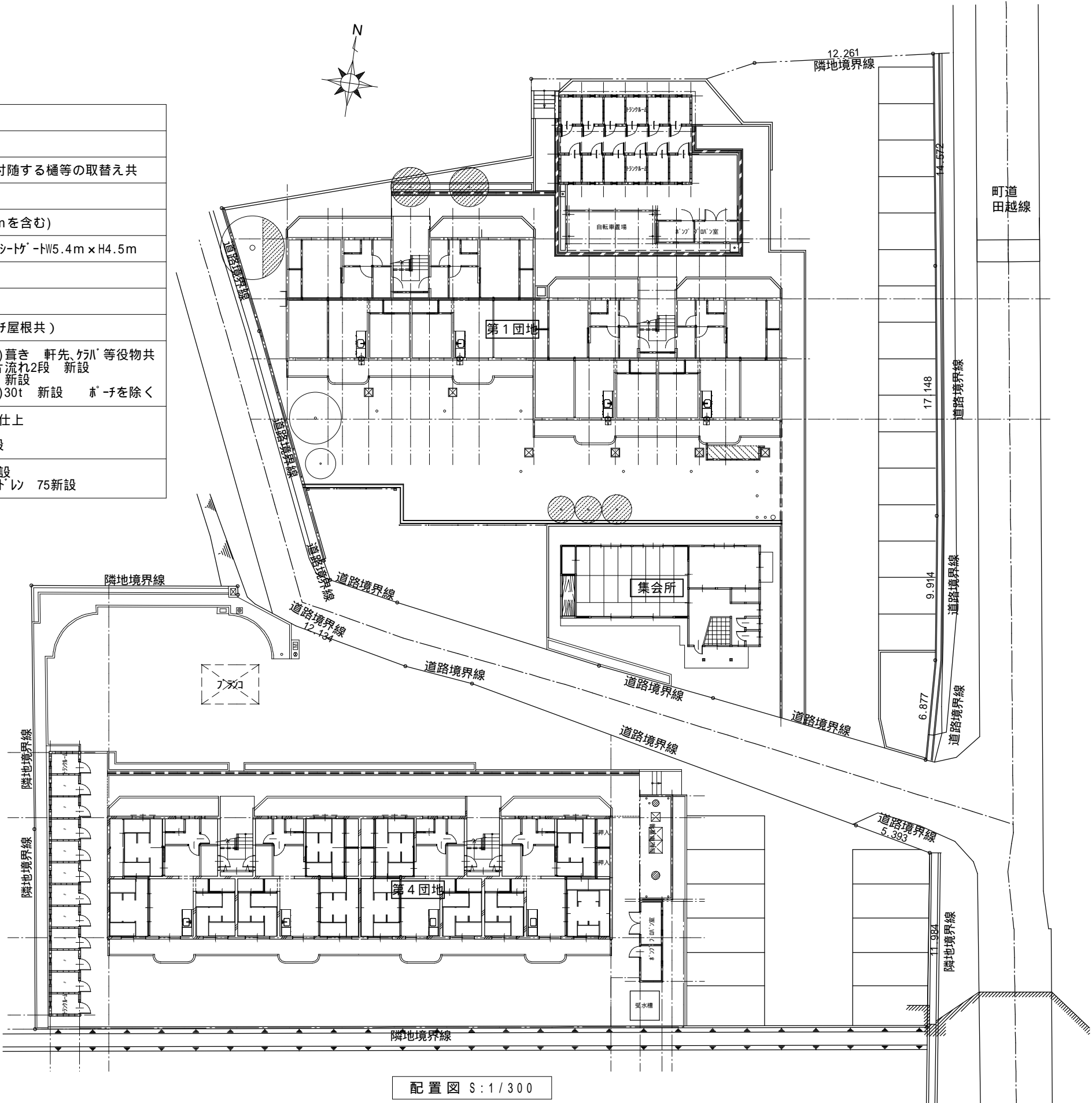
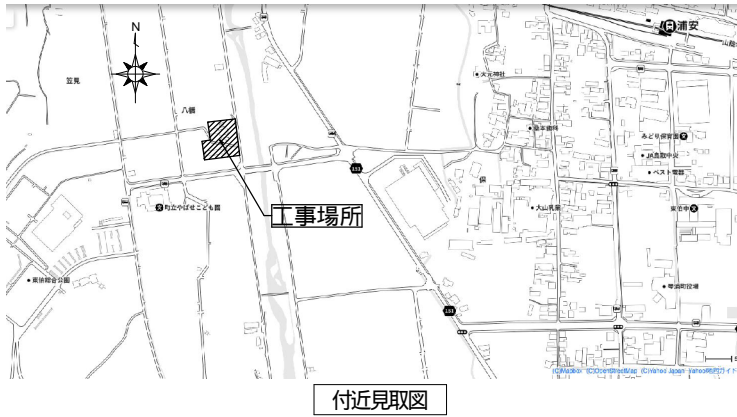
2

特殊な建設副産物の回収及び処分  
<7.1.3>

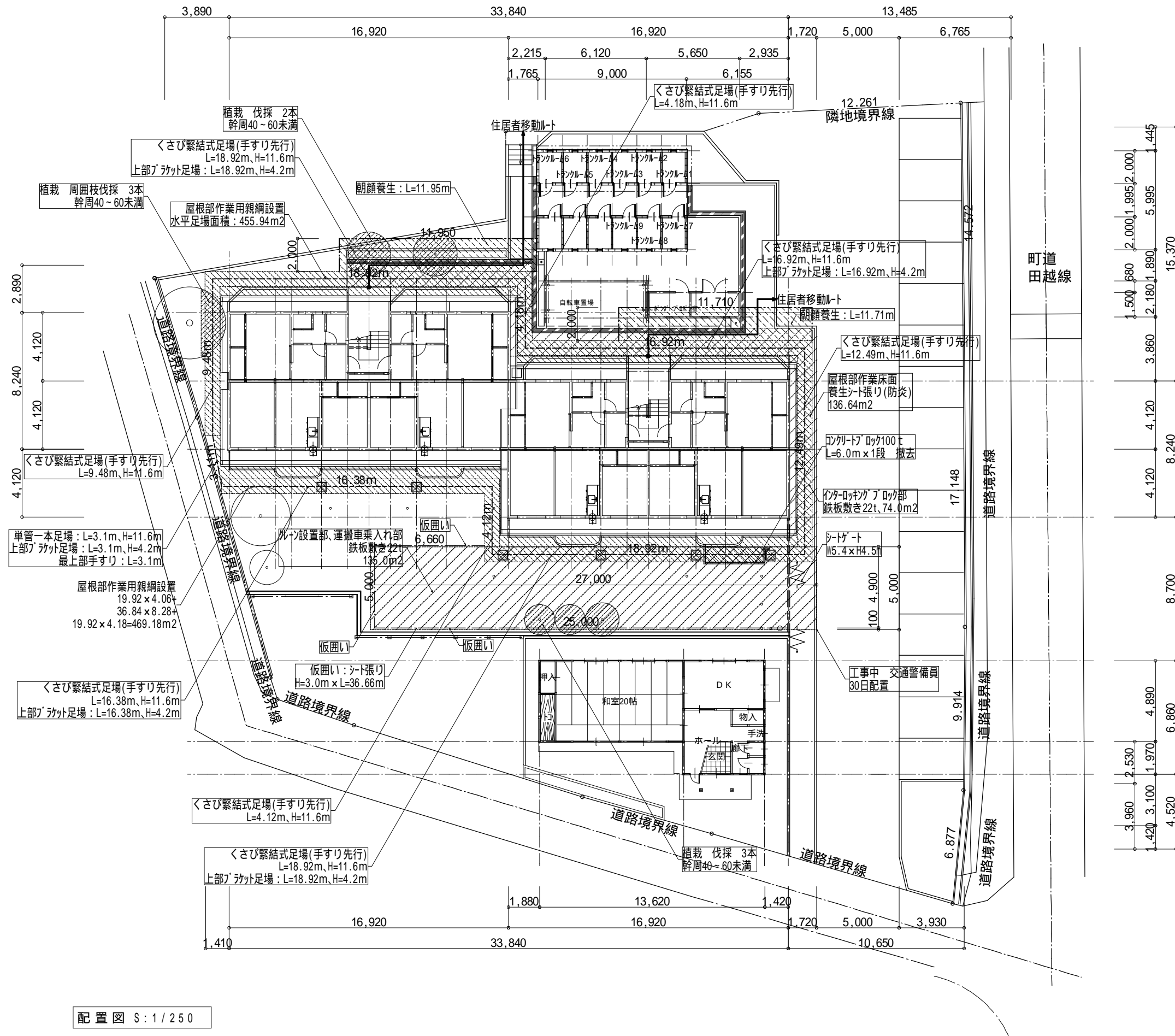
回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等
・   フロン			
・   ハロン			
・   イオン化式感知器			
・   六フッ化硫黄(SF6)ガス			
・   PFOS（ペフルオロ（オクソ-1-スルホン酸））			
・			

管理建築士	T I T L E    町営住宅一里松第 1 団地・第 4 団地屋根修繕工事	ARCH 有限会社 アーク設計工房 一級建築士事務所    登録第 0 3 - 1 2 6 1 号 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599 琴浦事務所	NO.    A - 8 DRAWING NO    2 0 2 3 . 9
一級建築士    第 2 6 2 2 8 7 号      杉嶋   信次	NO SCALE    解体特記仕様書（ 4 ）		

○ 工事内容 概要	
・ 工事内容	
屋根葺き替え工事 : 既存アスファルトシングル葺き撤去のうえSGLカー-鋼板横(700)葺き新設 付随する樋等の取替え共	
既存軒樋部シート防水張替え : シート防水・アルミ防水押え撤去のうえシート防水・アルミ防水押え新設	
屋根部作業面親網設置(屋根作業部)、屋根部作業床面シート張り(屋根材撤去作業部、立上りH=1.0mを含む)	
運搬車乗入れ部: 周囲仮囲いシート張りH=3.0m(舗装部: H-200使用固定)、敷き鉄板22t 入口: シート付トW5.4m×H4.5m	
居住者出入口上部: 水平養生合板敷き 居住者通行部: 朝顔養生(出幅2.0m)	
工事車両通行部及び出入り部: 交通誘導員を配置(工事車両通行時を想定)	
既存部分 撤去工事(ホーチ屋根共)	新設 工事(ホーチ屋根共)
屋根アスファルトシングル(ケバ)アルミ金物共)撤去 アスベスト含有 下地アスファルトフェルト撤去 アスベスト含有 上記は屋根にて梱包とする 既存撤去部水洗い(高圧ホース使用)、下地調整ホーリマセメント塗	屋根: SGLカー-鋼板0.4t横(700)葺き 軒先、ケバ等役物共 雪止め: L-3×40×40(メッキ品)片流れ2段 新設 下地ゴムアシート(粘着層付)1.0t 新設 下地断熱材ポリスチレンフォーム(3種bA)30t 新設 ホーチを除く
軒樋シート防水・アルミ防水押え、ルーフトン撤去 既存撤去部水洗い(高圧ホース使用)、下地調整ホーリマセメント塗	軒樋: シート防水1.2t張り、シルバー仕上 防水押えアルミシングル新設 シート防水用鉛製ルーフトン 75新設
縦樋塩ビ製 75撤去(取付金物共) バルコニー部: 中継トン撤去	縦樋VP75(SUS製取付金物共)新設 バルコニー部: エルタル防水用鉛製ルーフトン 75新設

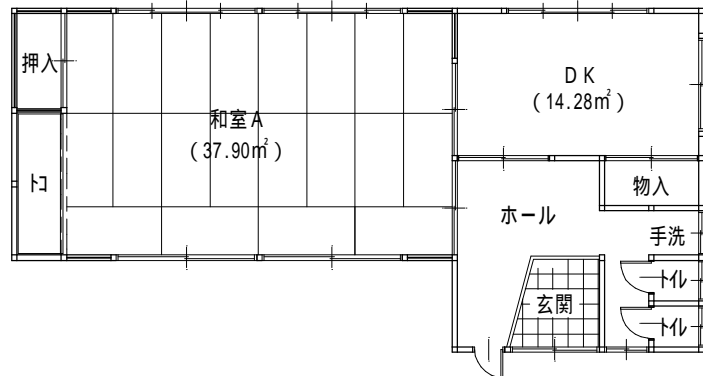
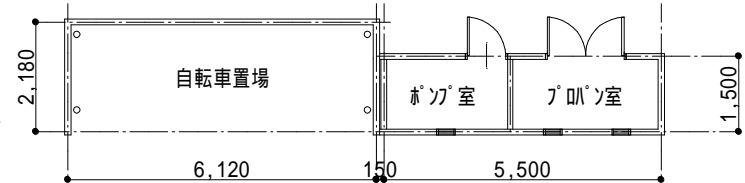
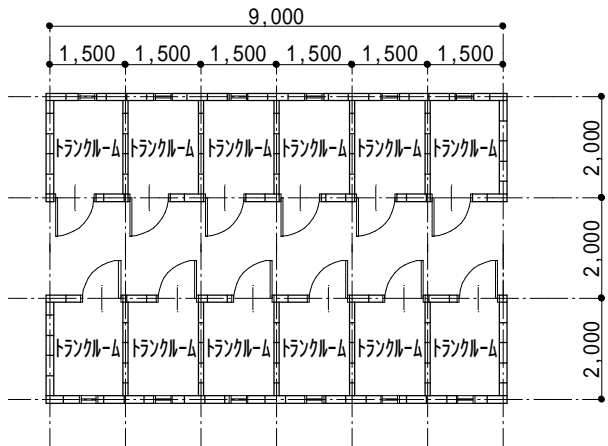
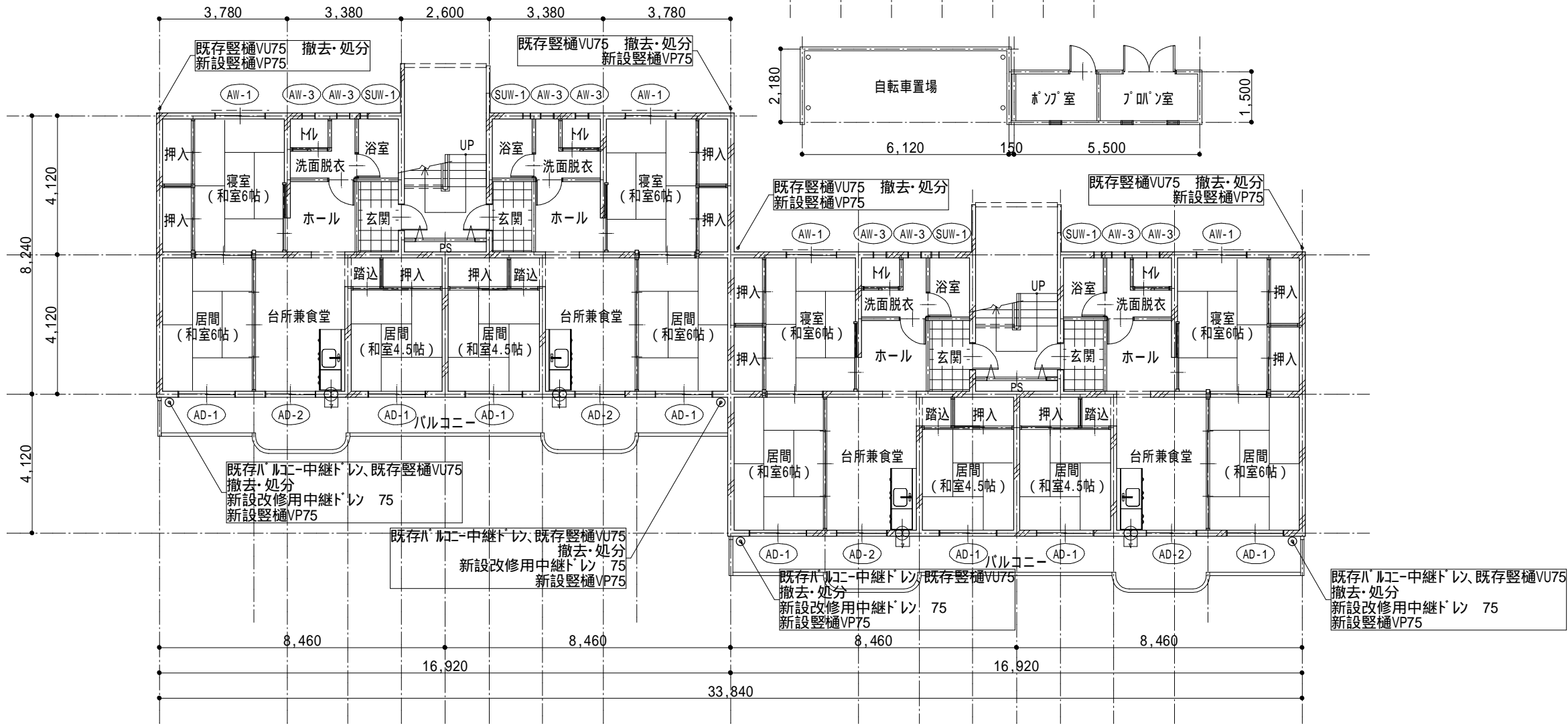


配置図 S:1/300

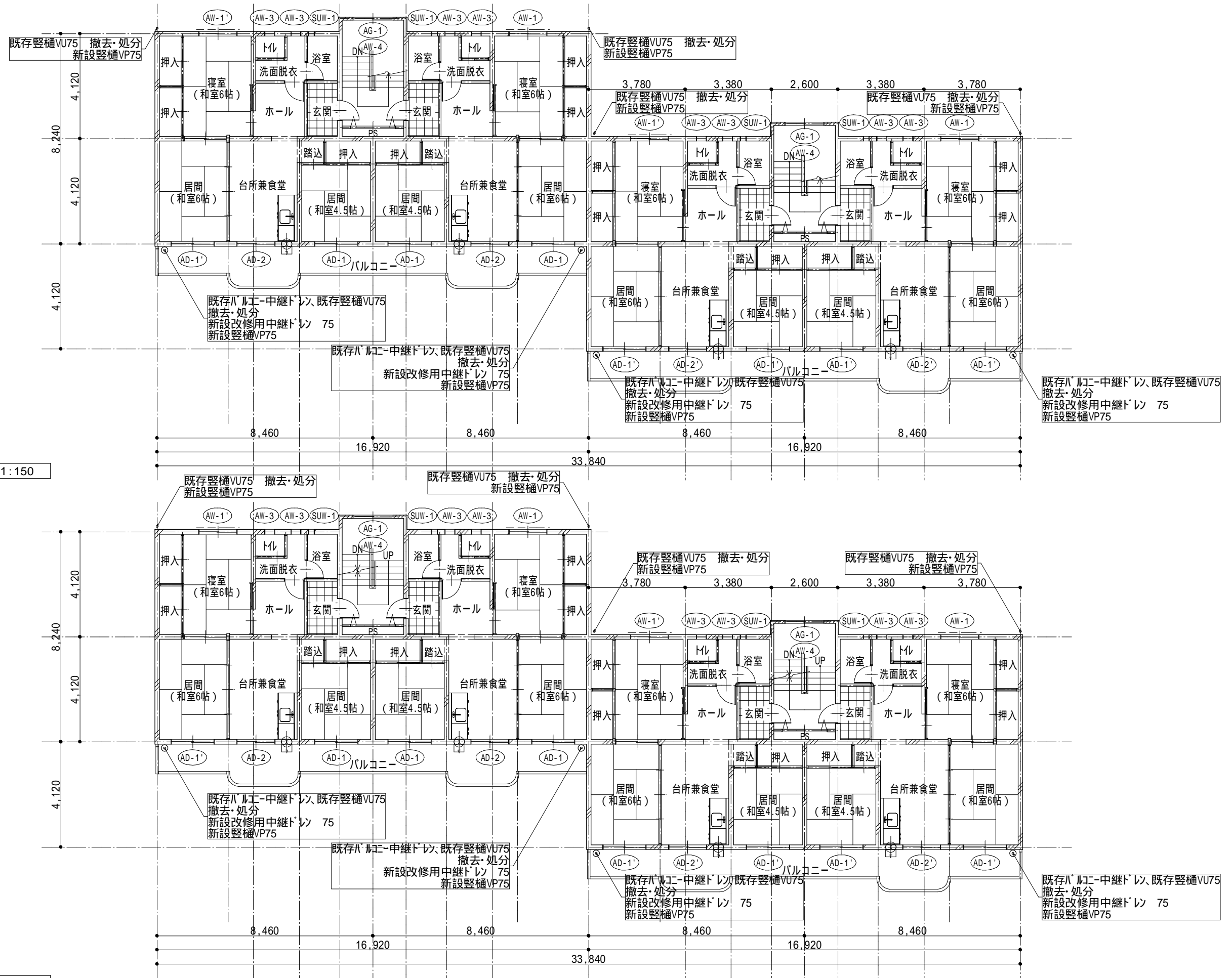


配置図 S:1/250

建 具 表							
符号	数量	形 式	寸 法	符号	数量	形 式	寸 法
AD-1	14	引違い戸	1,700W×1,800H	AW-1	11	引違い窓	1,500W×1,300H
AD-1'	10	引違い戸	1,700W×1,800H	AW-1'	1	引違い窓	1,500W×1,300H
AD-2	8	引違い戸	1,500W×1,800H	AW-3	24	外倒し窓	400W×600H
AD-2'	4	引違い戸	1,500W×1,800H	AW-4	4	引違い窓	1,500W×700H
AG-1	2	アルミガリ	1,500W×250H	SUW-1	12	排煙窓付Fix窓（ステンレス）	240W×1,485H

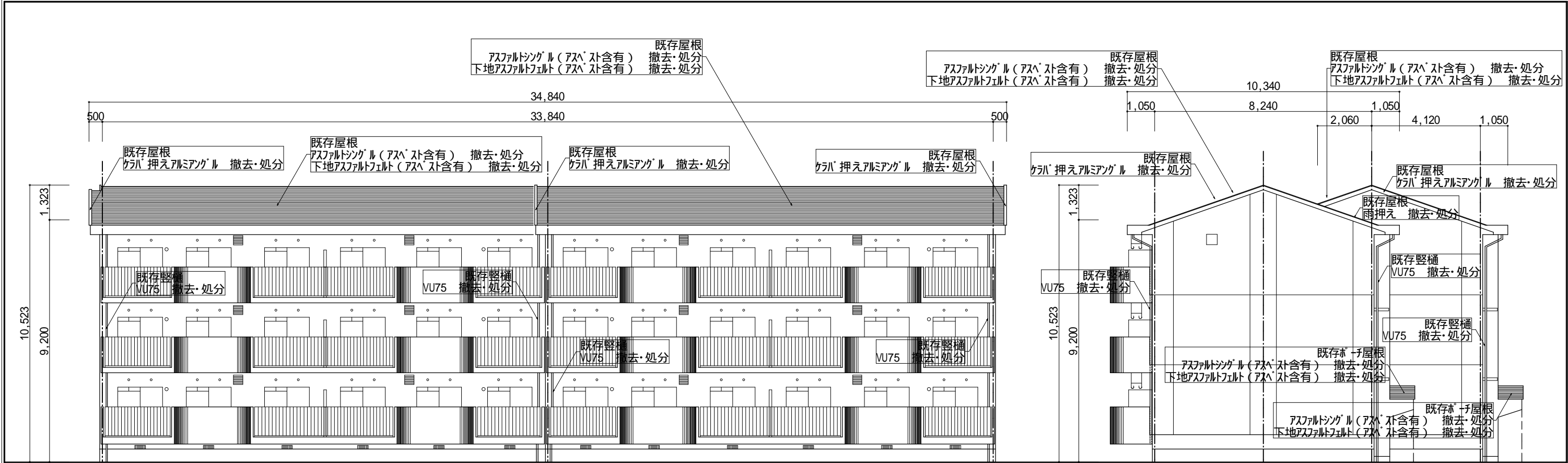


1階平面図 S=1:150



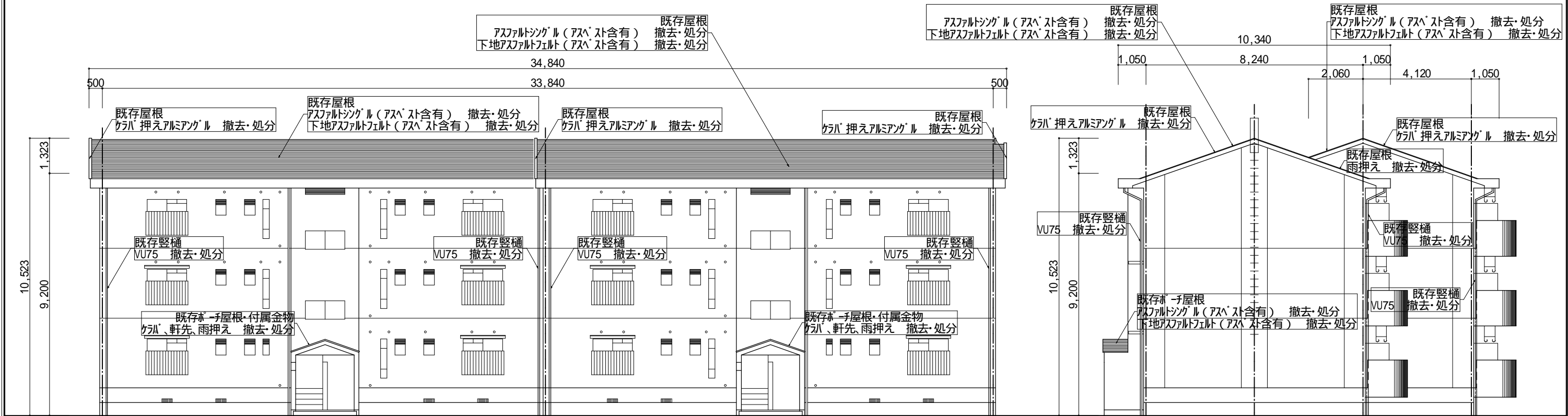
3階平面図 S=1:150

2階平面図 S=1:150



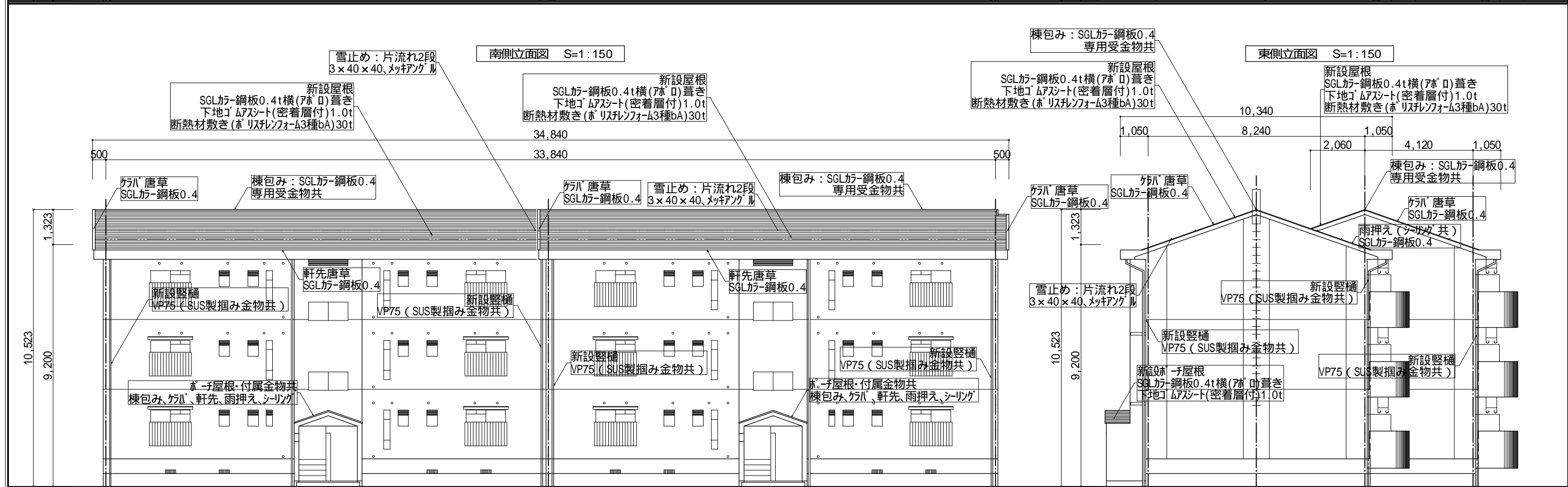
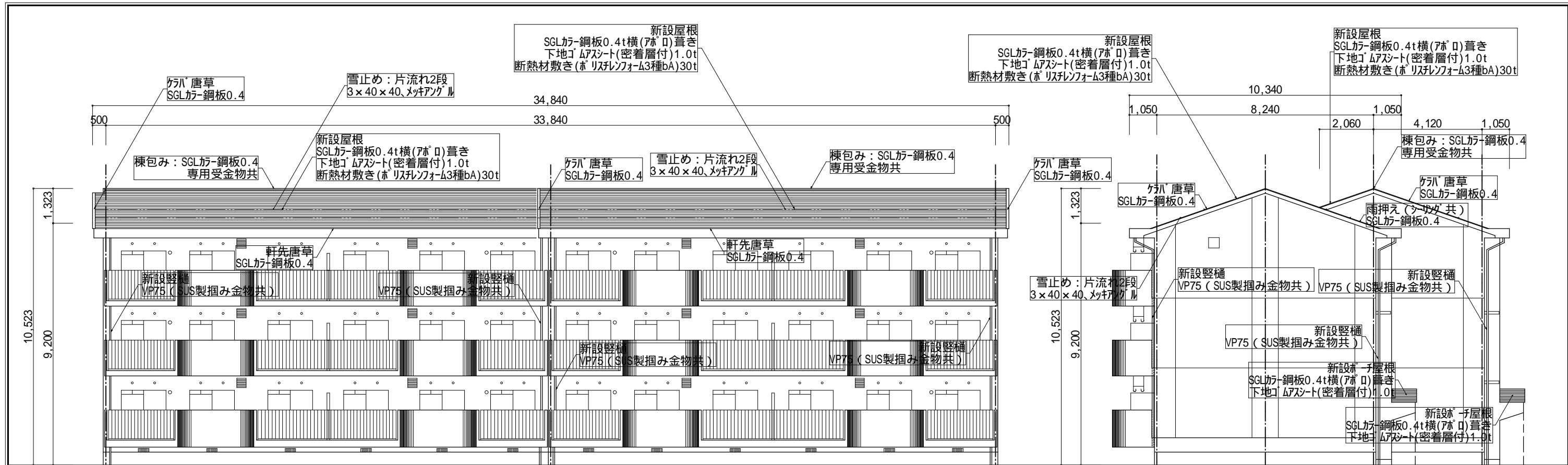
南側立面図 S=1:150

東側立面図 S=1:150



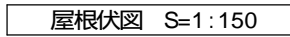
北側立面図 S=1:150

西側立面図 S=1:150



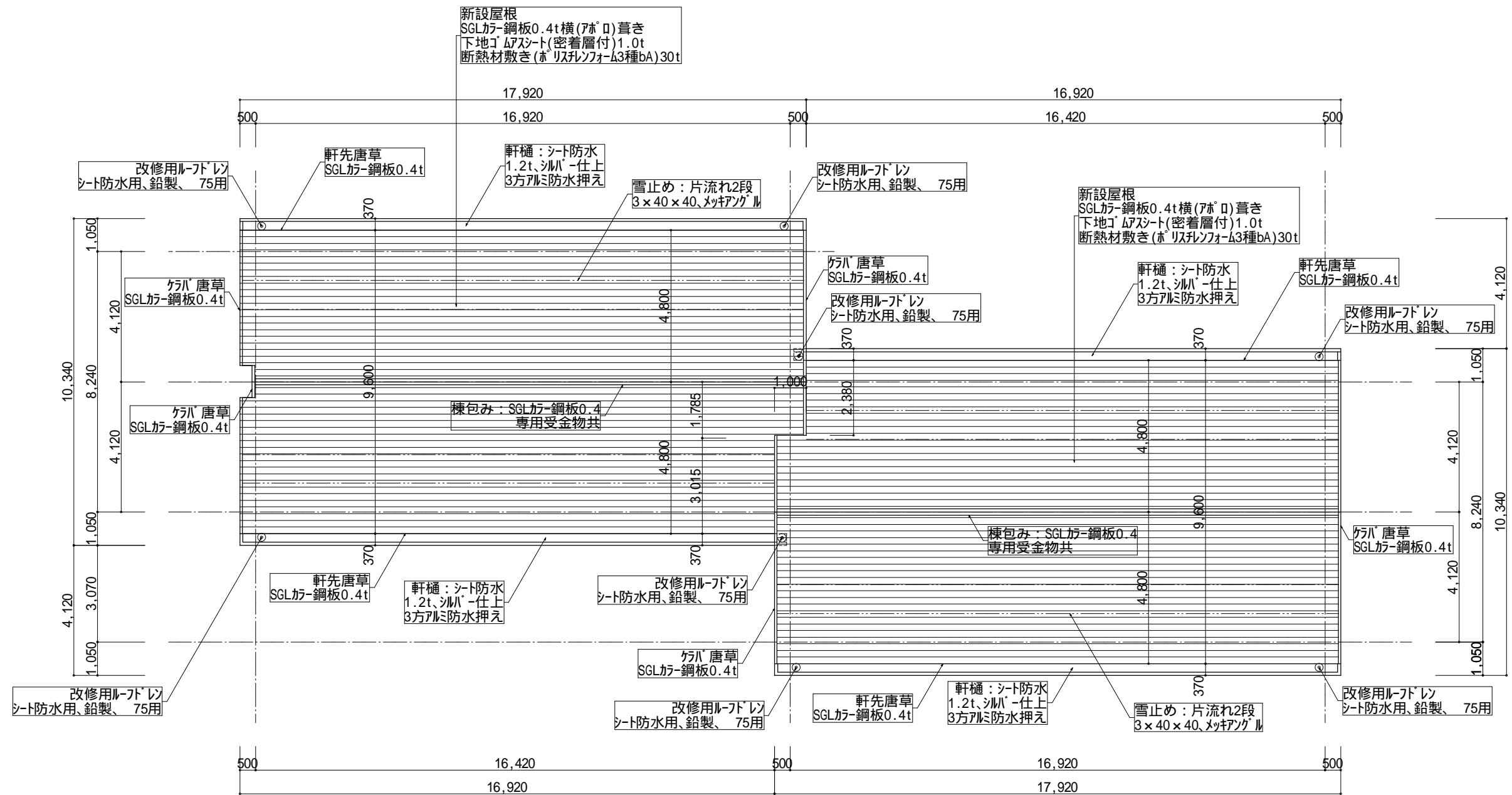
管理建築士			TITLE		町営住宅一里松第1団地・第4団地屋根修繕工事		ARCH		有限会社 アーク設計工房		NO. A - 14	
一級建築士 第262287号 杉嶋 信次			改修後 第1団地 立面図		S = 1 : 150		琴浦事務所		一級建築士事務所 登録第03-1261号		DRAWING NO. 2023.9	
									TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599			



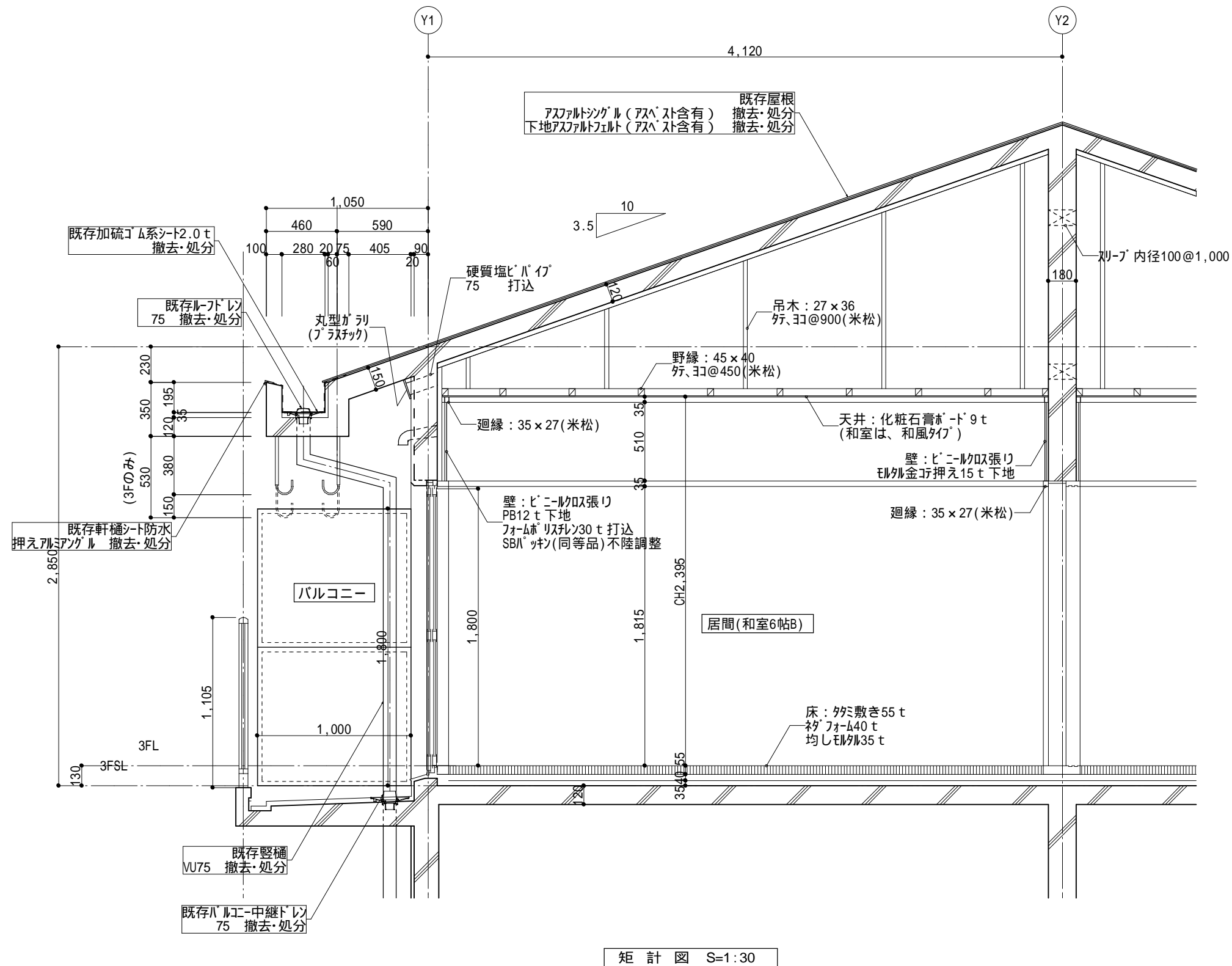


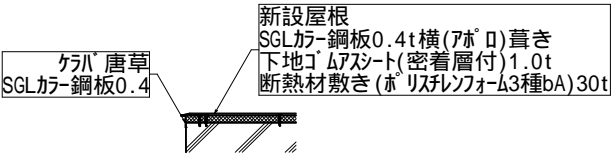
	管理建築士	TITLE 町営住宅一里松第1団地・第4団地屋根修繕工事	 <b>ARCH</b> 有限会社 <b>アーク設計工房</b> 一級建築士事務所 登録第03-1261号 琴浦事務所 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599	NO. A - 15
	一級建築士 第262287号 杉嶋 信次	現況 第1団地 屋根伏図 S = 1 : 150		DRAWING NO 2023.9



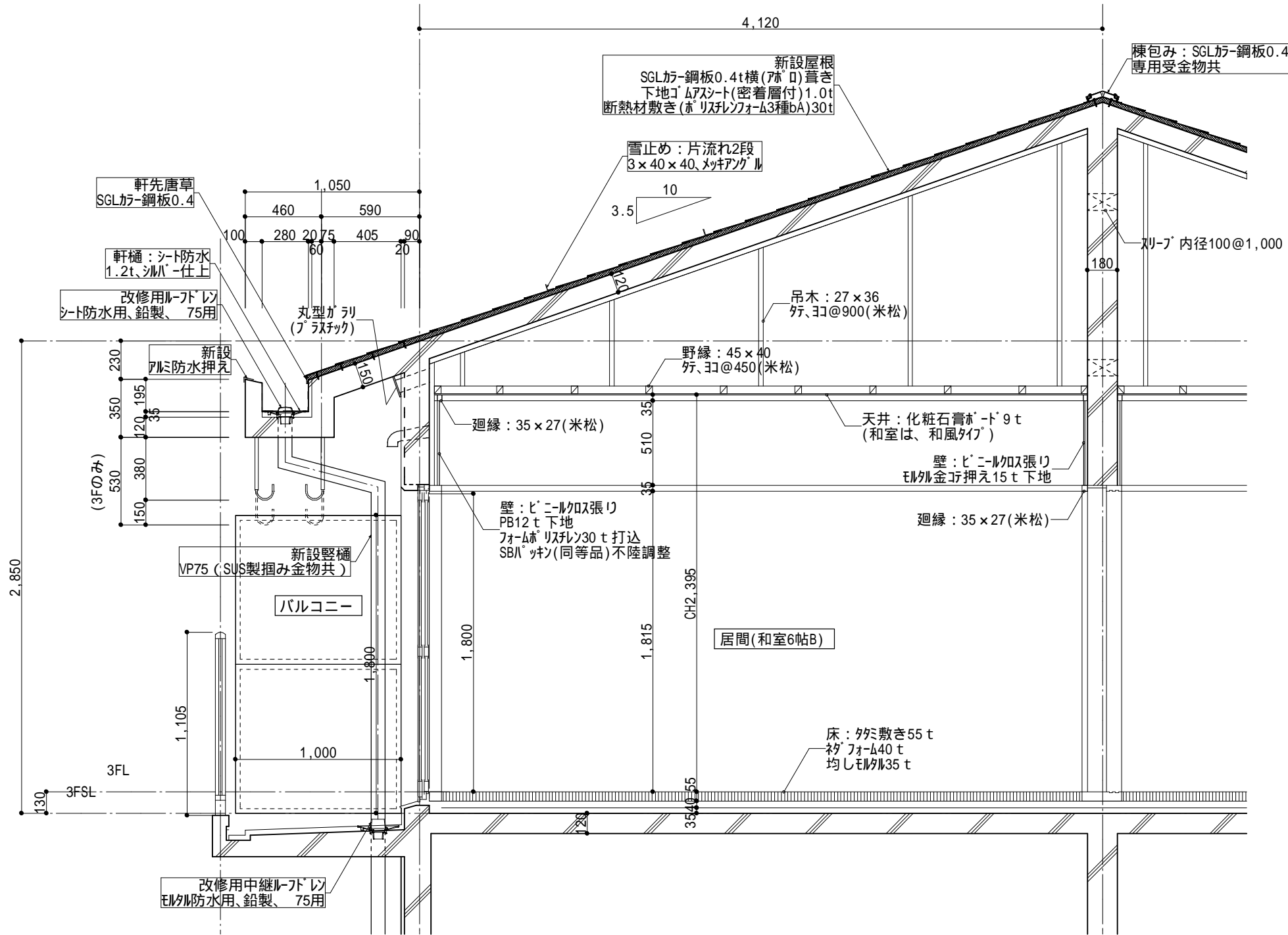


屋根伏図 S=1:150

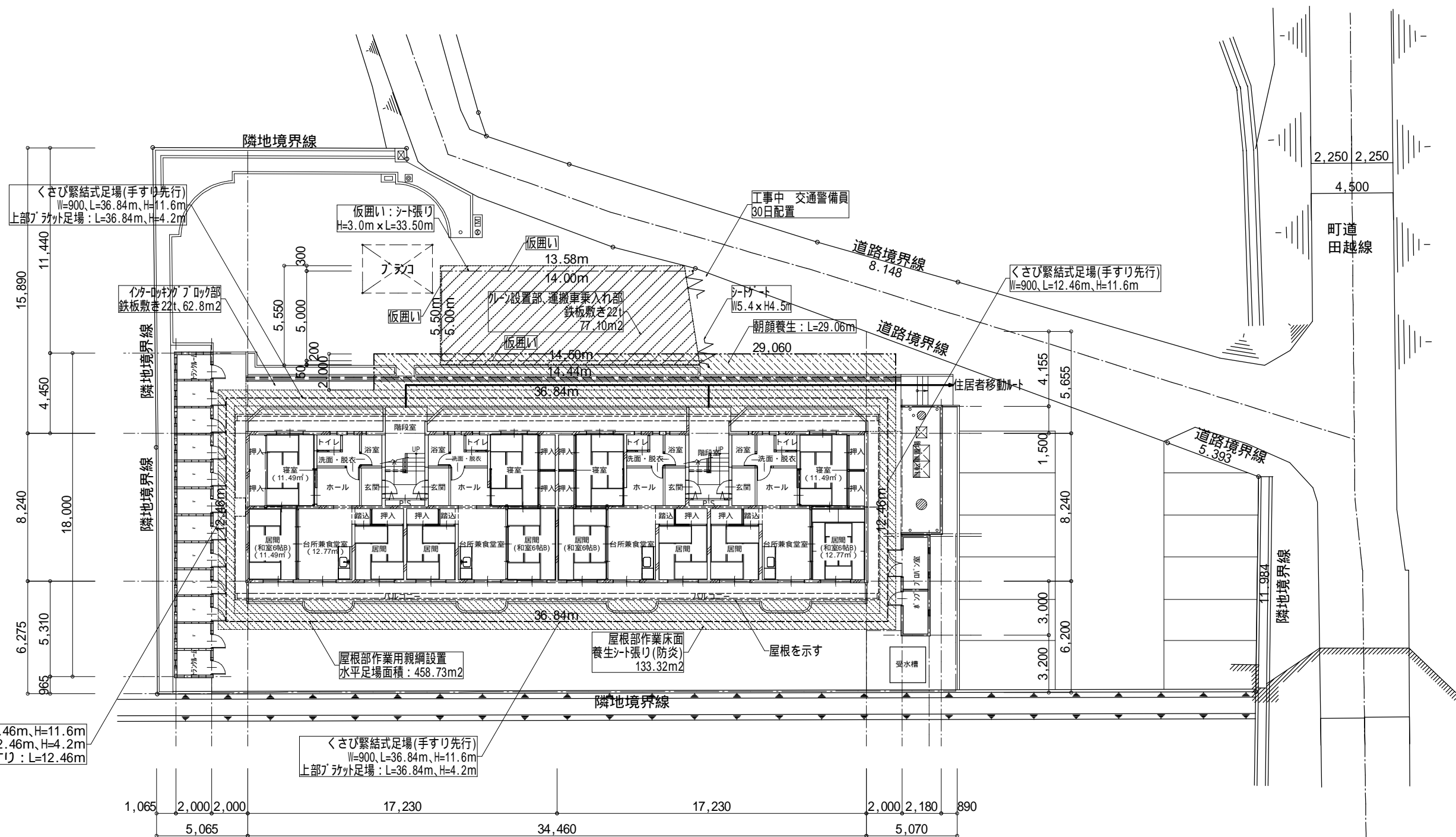




ケラバ詳細図 S=1:30

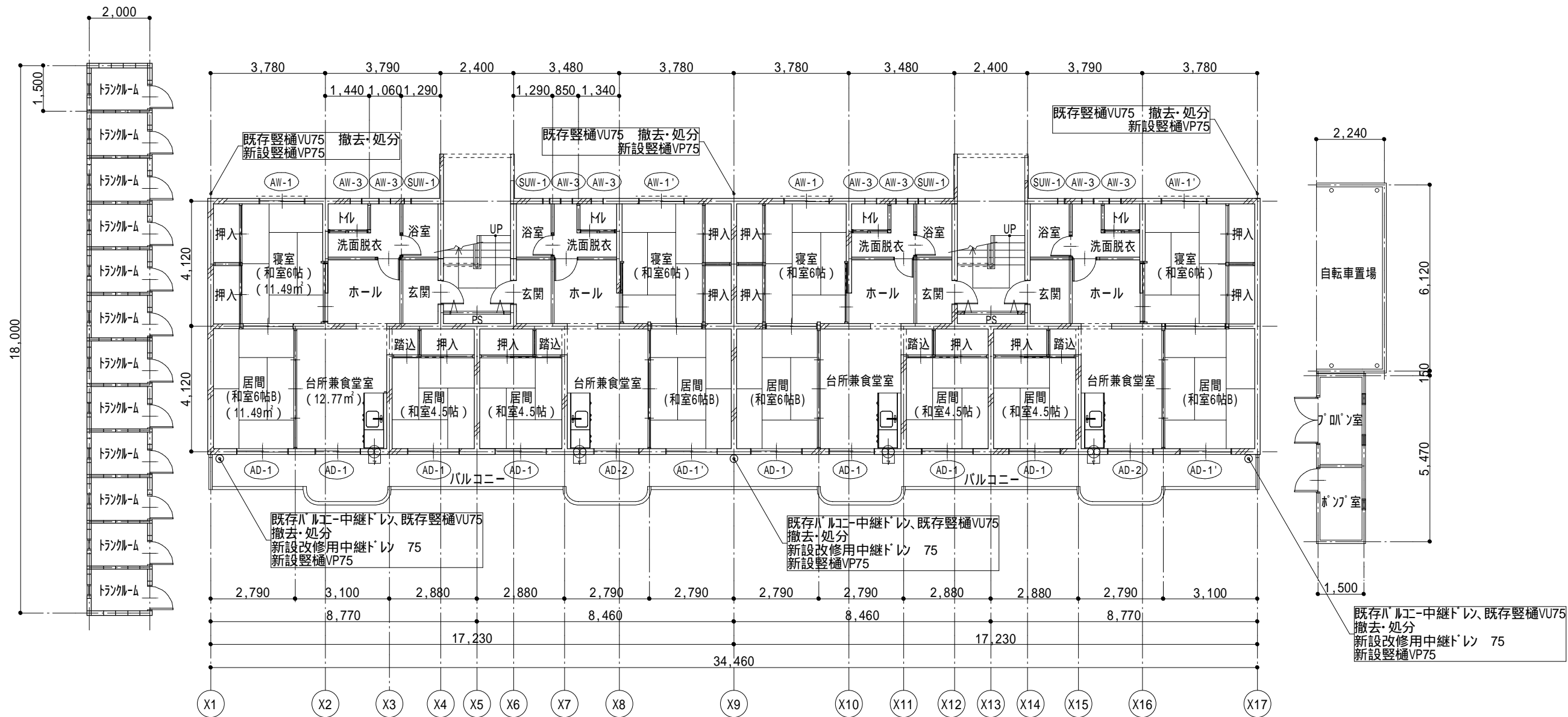


矩計図 S=1:30

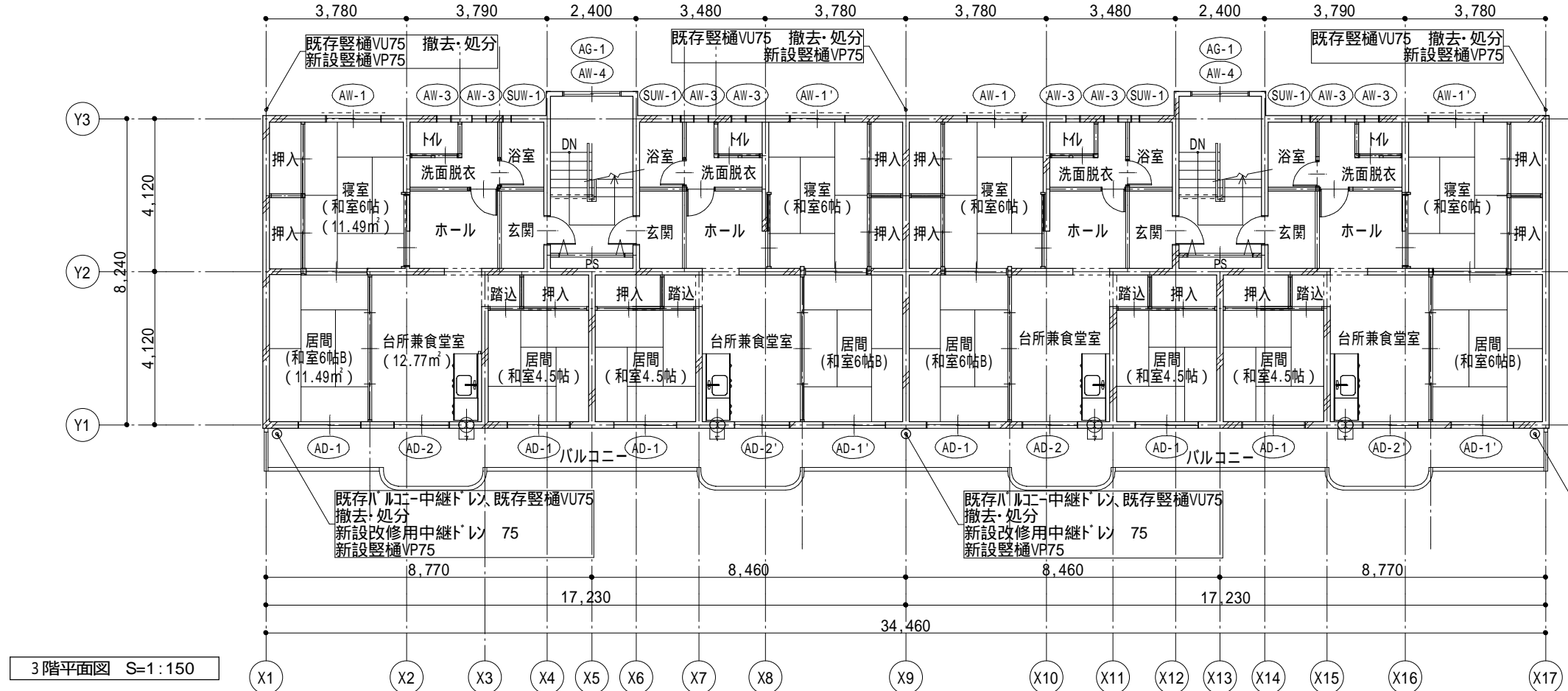


配置図 S:1/250

建 具 表							
符号	数量	形 式	寸 法	符号	数量	形 式	寸 法
AD-1	18	引違い戸	1,700W × 1,800H	AW-1	6	引違い窓	1,500W × 1,300H
AD-1'	6	引違い戸	1,700W × 1,800H	AW-1'	6	引違い窓	1,500W × 1,300H
AD-2	8	引違い戸	1,500W × 1,800H	AW-3	24	外倒し窓	400W × 600H
AD-2'	4	引違い戸	1,500W × 1,800H	AW-4	4	引違い窓	1,500W × 700H
AG-1	2	アルミカバリ	1,500W × 250H	SUW-1	12	排煙窓付Fix窓（スルス）	240W × 1,485H

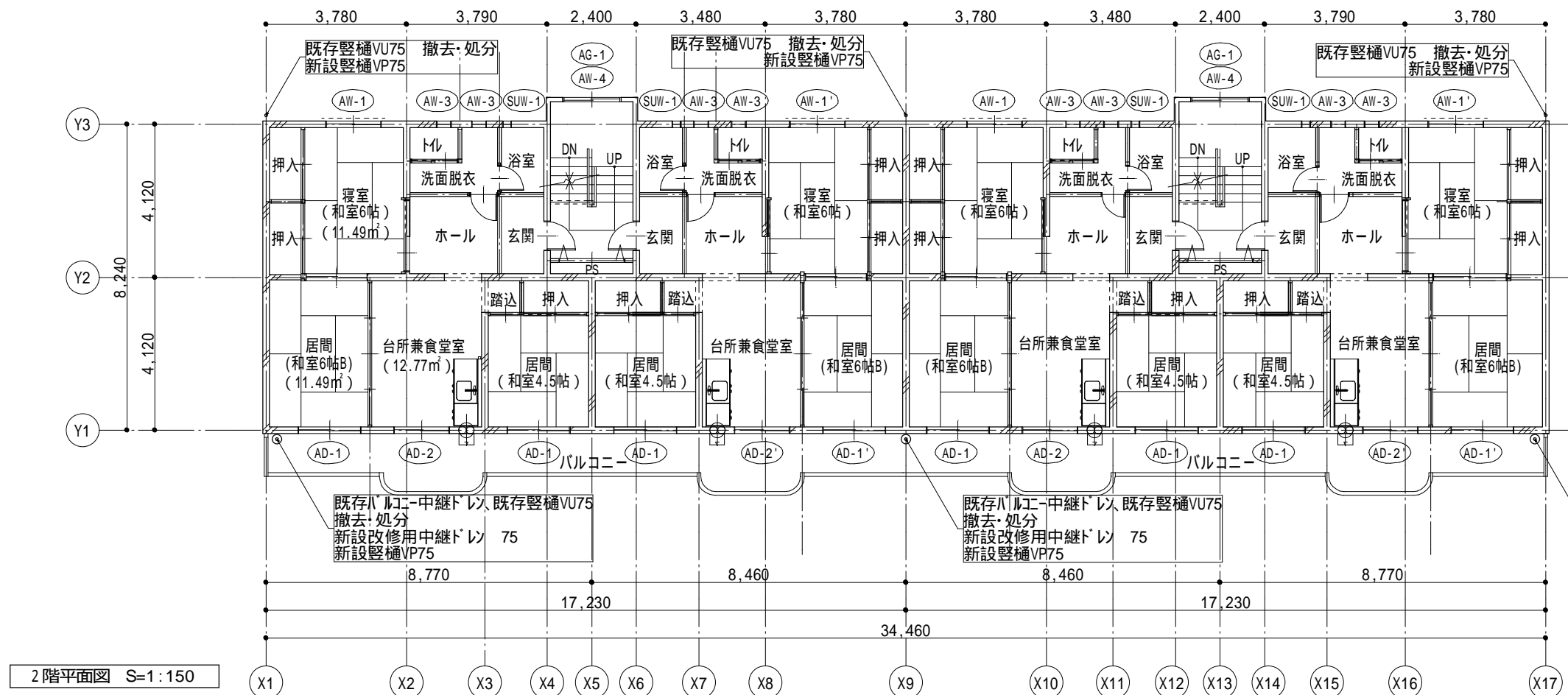


1階平面図 S=1:150



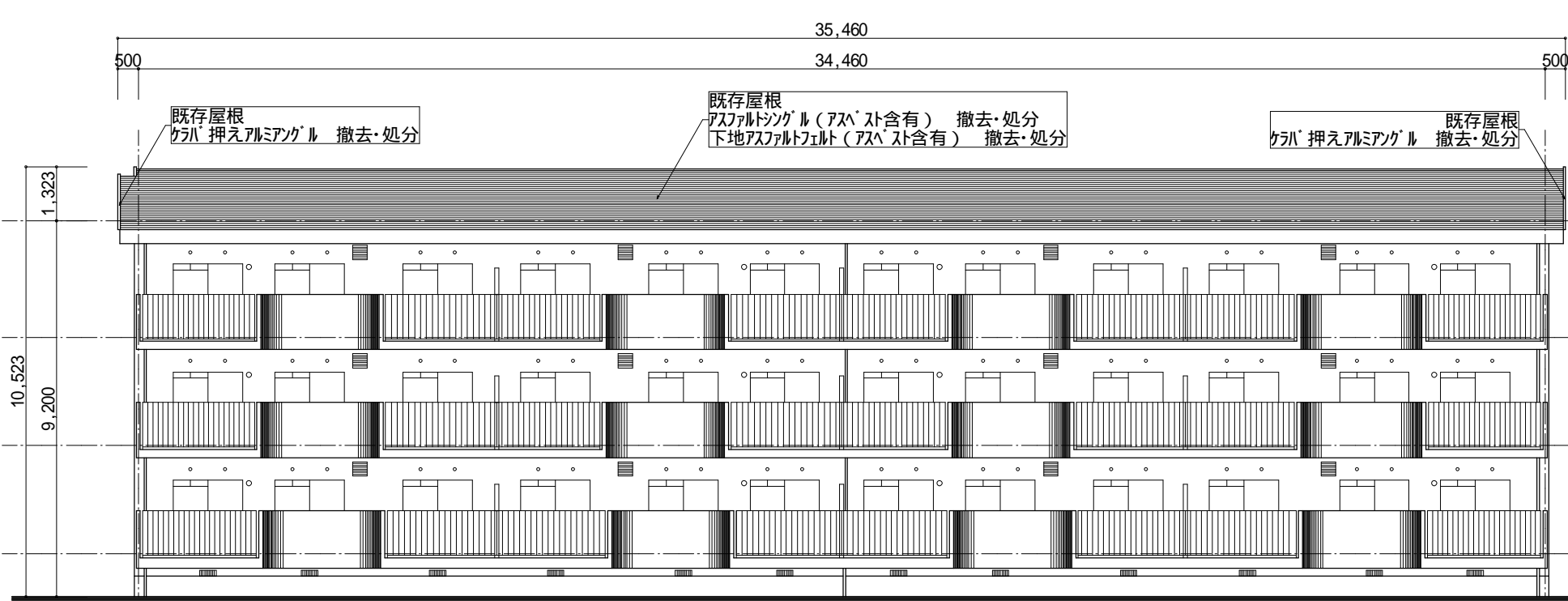
3階平面図 S=1:150

既存バルコニー中継ドレン、既存縦樋VU75  
撤去・処分  
新設改修用中継ドレン 75  
新設縦樋VP75

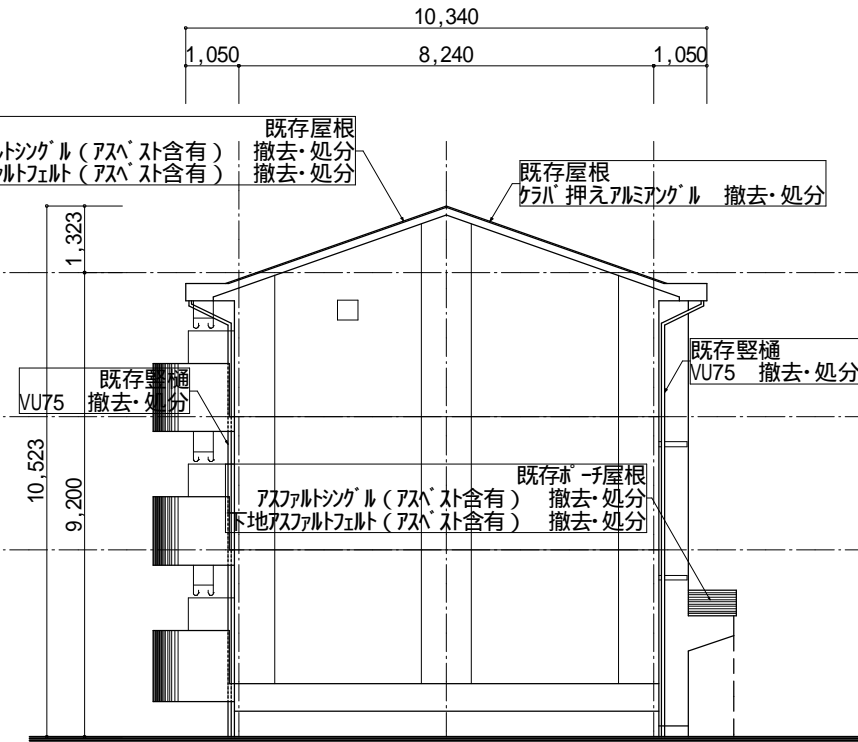


2階平面図 S=1:150

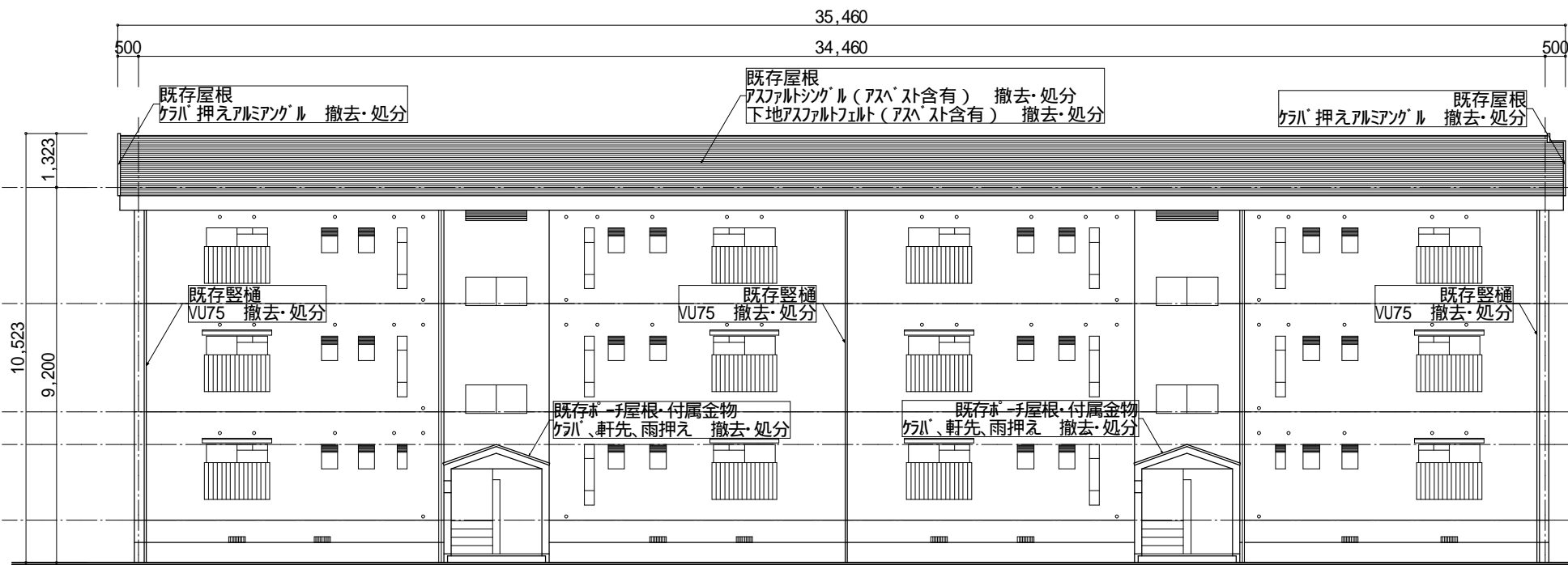
既存バルコニー中継ドレン、既存縦樋VU75  
撤去・処分  
新設改修用中継ドレン 75  
新設縦樋VP75



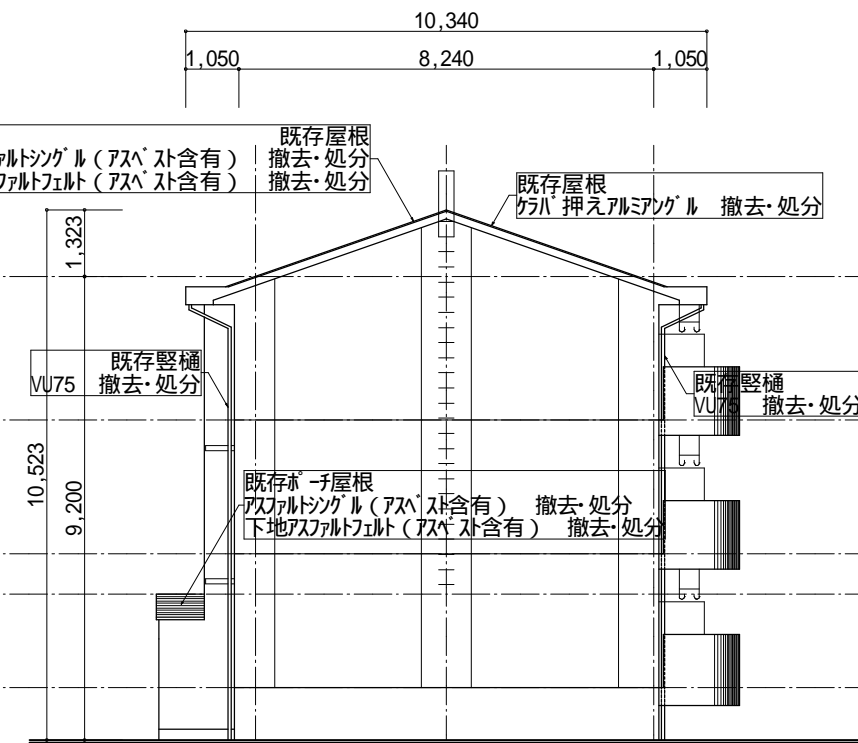
南側立面図 S=1:150



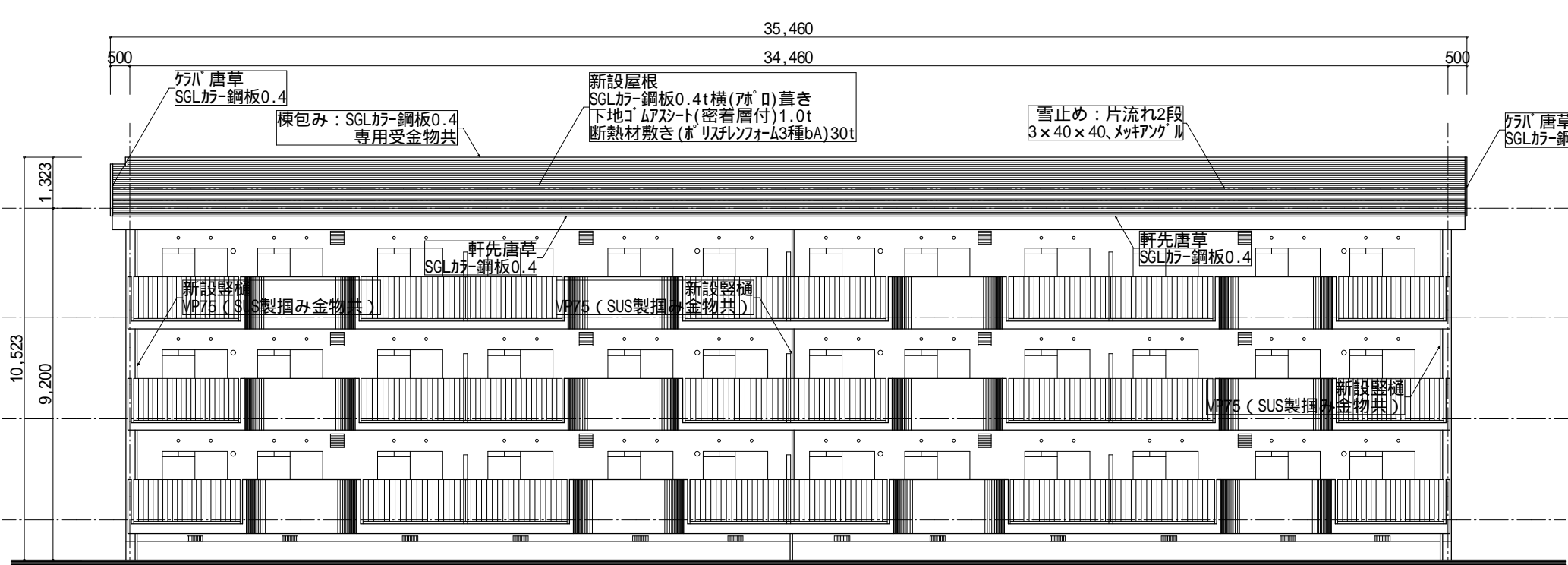
東側立面図 S=1:150



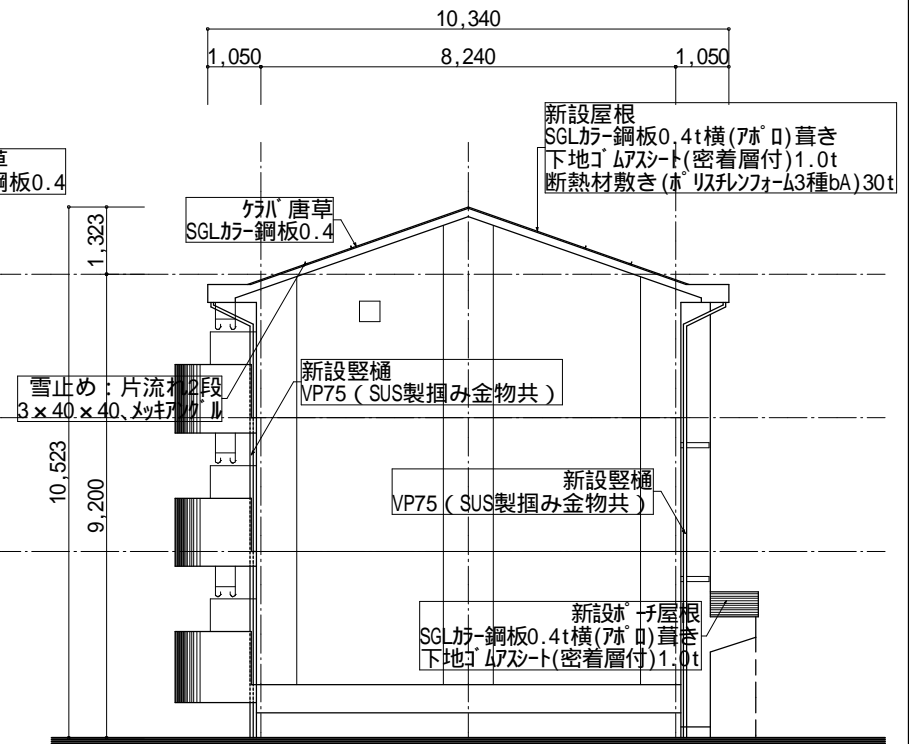
北側立面図 S=1:150



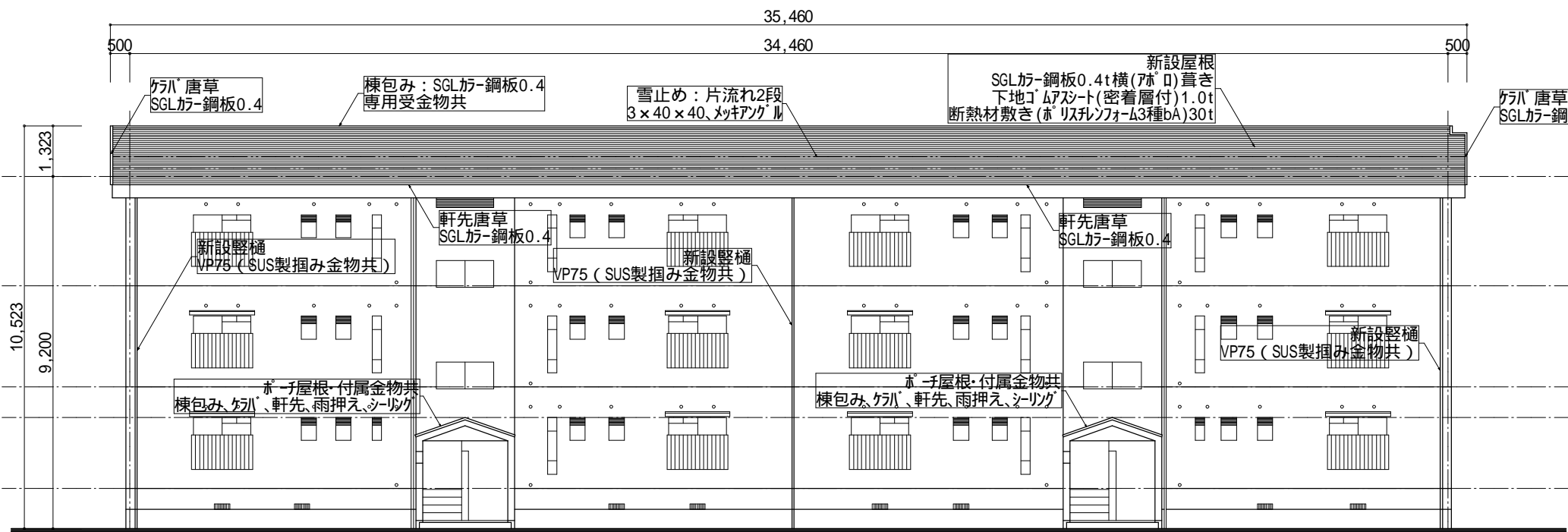
西側立面図 S=1:150



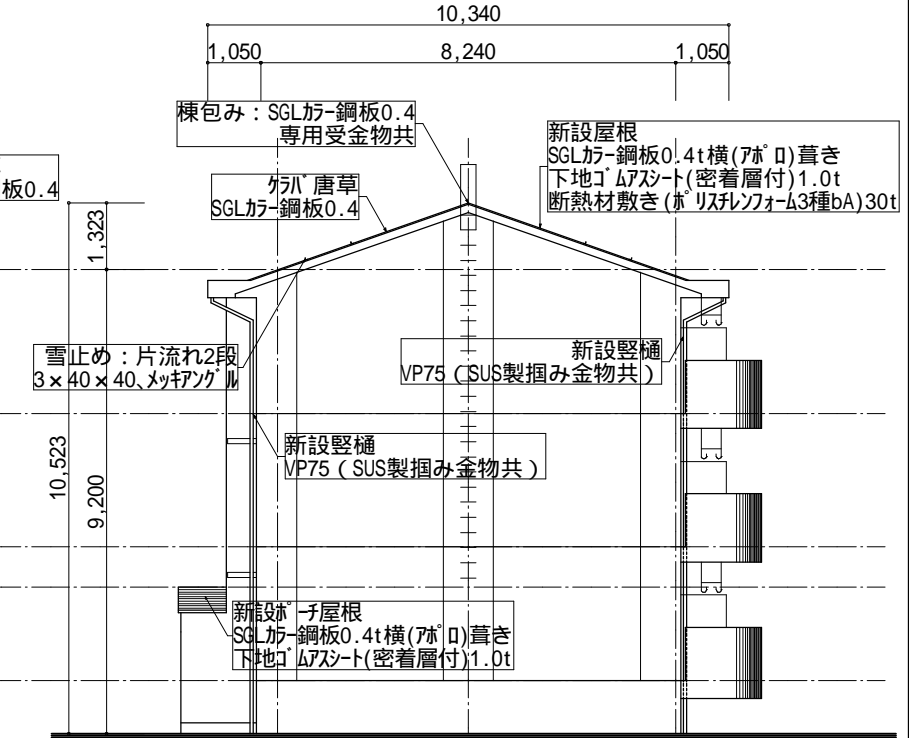
南側立面図 S=1:150



東側立面図 S=1:150

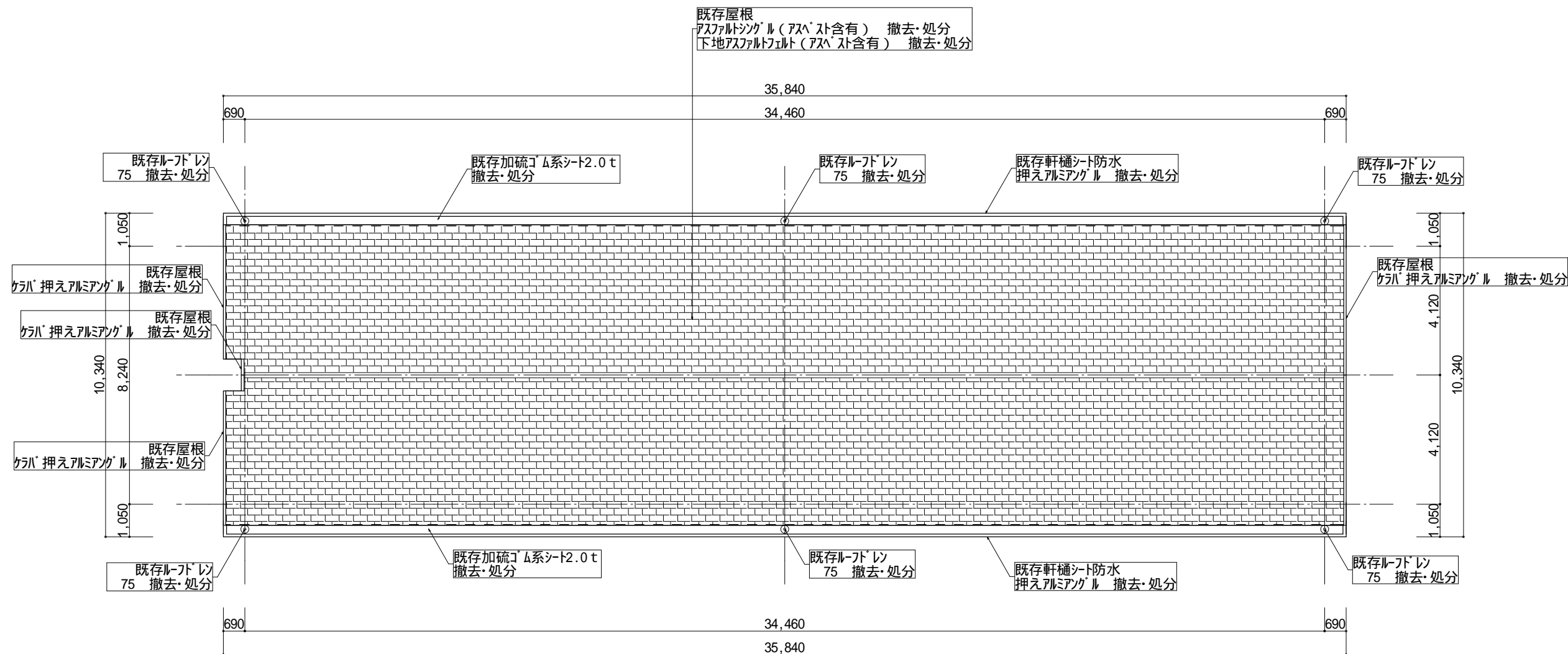


北側立面図 S=1:150

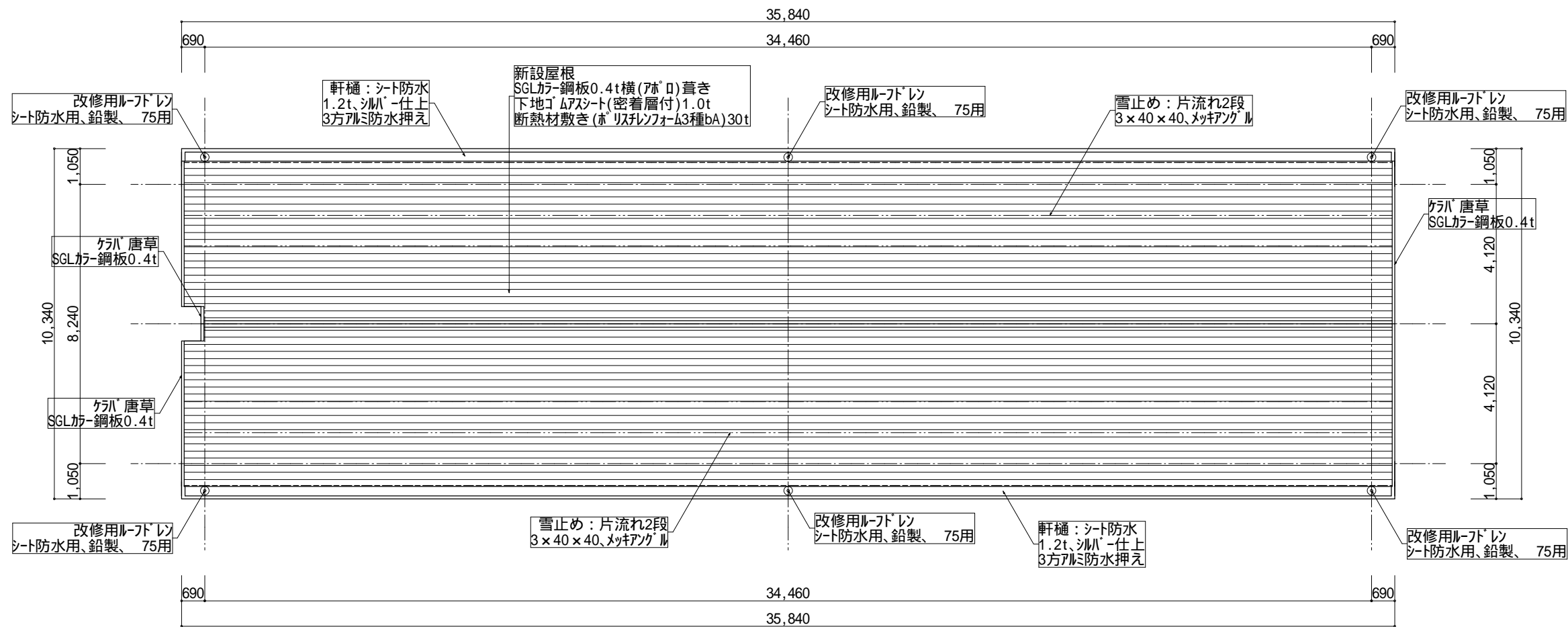


西側立面図 S=1:150



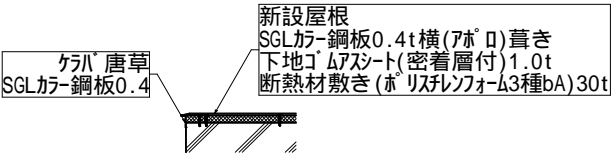


現況 屋根伏図 S=1:150

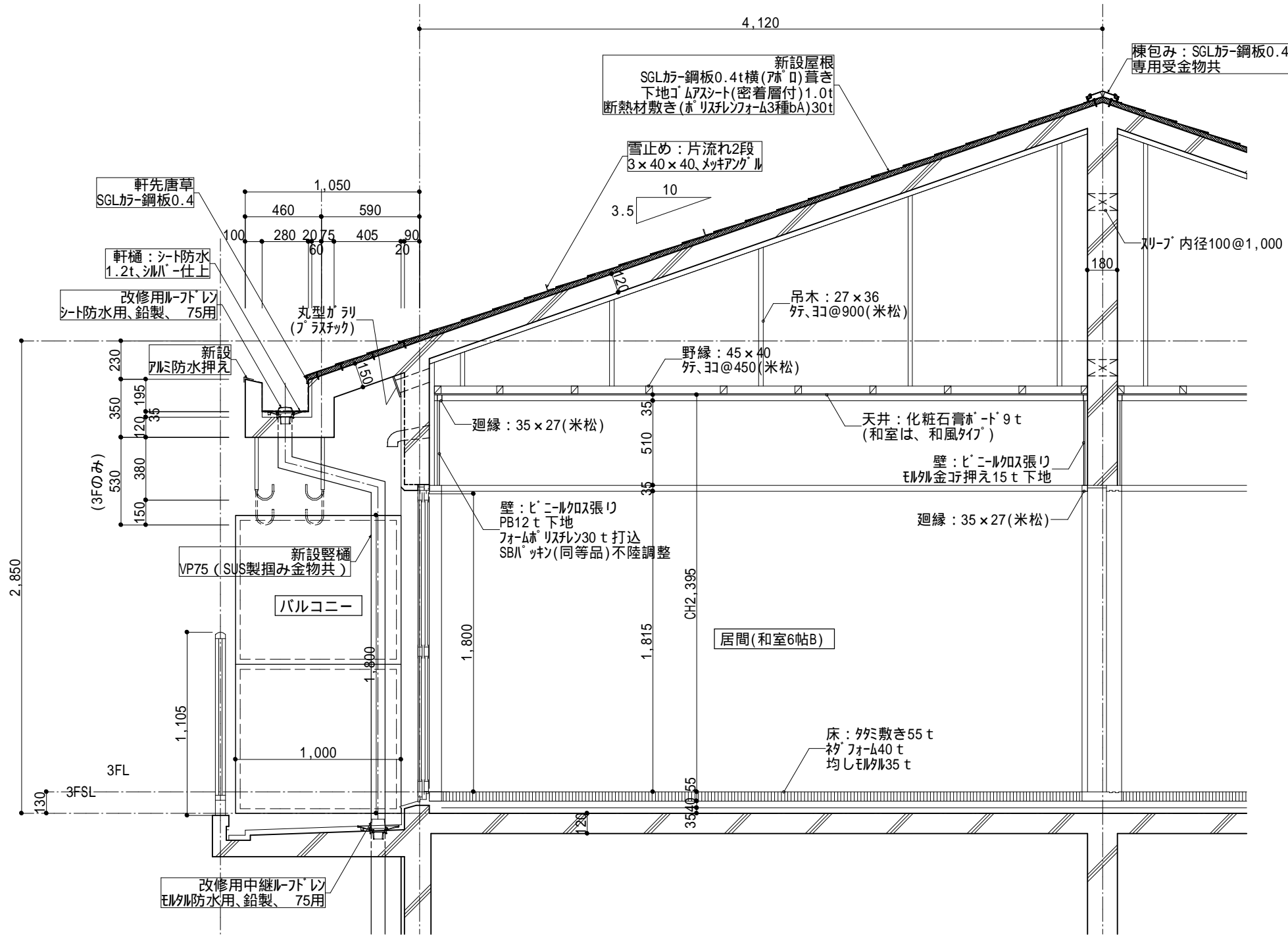


現況 屋根伏図 S=1:150





ケラハ詳細図 S=1:30



矩計図 S=1:30